

**令和7年度**

**和泉市教育委員会の点検・評価報告書**

**(令和6年度事業対象)**

**令和7年9月**

**和泉市教育委員会**

## 本報告書について

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に規定され、すべての教育委員会にて毎年、点検・評価及び議会への提出、公表が義務付けられているものです。

点検・評価にあたっては、学識経験者の知見も活用し、とりまとめを行っています。

また、本点検・評価は、教育大綱の策定を受け、教育委員会における施策を総合的かつ計画的に推進するために、取組活動を包括的に整理した「和泉市教育振興基本計画」の進行管理を兼ねており、その結果を次年度以降の施策の改善、推進につなげることをしています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 目 次

I	点検・評価の流れ	…	5	10	我が町における子どもの育成	…	34
II	和泉市教育大綱	…	6	11	健康教育・体力向上	…	36
III	和泉市教育振興基本計画	…	6	12	食育及び学校給食	…	38
IV	点検・評価シート	…	11	13	学校保健の充実	…	40
1	公立保育所・公立幼稚園の運営	…	12	14	教材の充実・管理経費の適正化	…	42
2	公立保育所・公立幼稚園の施設維持管理	…	16	15	小中学校の施設維持管理	…	44
3	民間園への支援と連携	…	18	16	生涯学習環境づくり	…	46
4	学力向上	…	20	17	社会教育環境づくり	…	48
5	英語教育・読書教育	…	23	18	スポーツ施設の運営	…	50
6	教職員の資質向上	…	26	19	スポーツ施設の普及	…	52
7	生徒指導・教育相談体制の充実	…	28	20	文化芸術活動	…	54
8	道徳教育	…	30	21	文化財の調査研究・保護継承および文化財の活用	…	56
9	人権を尊重した教育	…	32	22	美術館の運営	…	58

23	青少年の健全育成	…	60
24	放課後等の児童の健全育成	…	62
25	青少年センター活動	…	64
26	図書館の運営および子どもの読書推進	…	66
27	国際交流	…	68
V	参考資料		
1	教育委員会の活動状況	…	70
2	和泉市教育委員会評価委員会規則	…	77

## I 点検・評価の流れ

### ●評価委員会委員

	氏名	職名	任期
委員長	平良 伸哉	大阪芸術大学 初等芸術教育学科 特任教授 (元校長)	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日
委員	杉田 菜穂	大阪公立大学 経済学部教授	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日
委員	川口 厚	桃山学院大学 経済学部教授	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日

### ●点検・評価報告書の作成

各所管部局において、令和6年度に取り組んだ事業について、「和泉市教育大綱」、「和泉市教育振興基本計画」に掲げる目標等を踏まえた全体評価をはじめとして、特に効果のあった内容、今後の課題等の自己評価を実施

### ●第1回評価委員会【令和7年5月15日(木)】

対象部局 : 生涯学習部

### ●第2回評価委員会【令和7年5月29日(木)】

対象部局 : 教育・こども部

第1回、第2回評価委員会では、各委員から評価内容の確認、評価の視点等について、意見を聴取

### ●第3回評価委員会【令和7年6月26日(木)】

対象部局 : 教育・こども部、生涯学習部

第1回、第2回評価委員会での意見等を踏まえた修正内容の確認等を実施

### ●令和7年第8回教育委員会定例会【令和7年8月28日(木)】

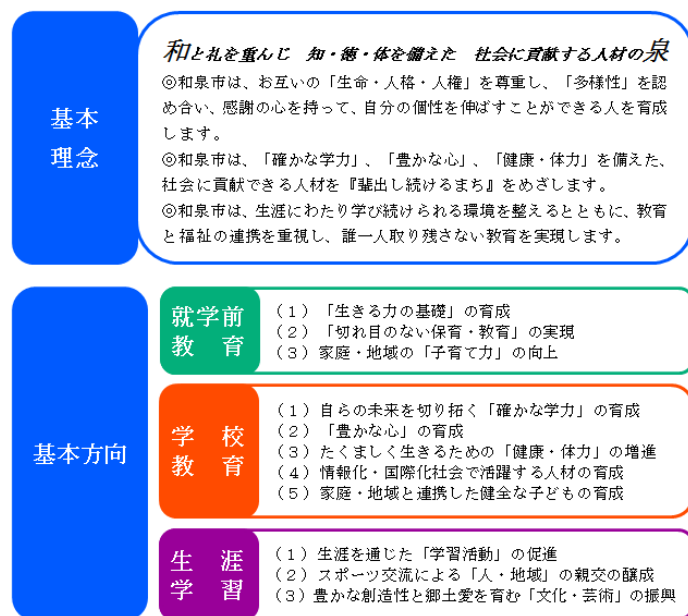
議会への提出、公表する案について報告

## Ⅱ 和泉市教育大綱

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき、平成27年11月に「和泉市教育大綱」を定め、令和4年3月に改訂しました。

この「和泉市教育大綱」は、和泉市における教育、学術及び文化の振興を図るための基本理念と基本方向を示すもので、市長と教育委員会で構成する総合教育会議において協議し、定めたものです。

### 〈和泉市教育大綱の体系〉



## Ⅲ 和泉市教育振興基本計画

和泉市教育振興基本計画は、「和泉市教育大綱」を受け、教育委員会における施策を総合的かつ計画的に推進するよう、平成28年3月に策定し、令和4年3月に改訂しました。

本計画の構成は、和泉市教育大綱に基づき、「就学前教育」、「学校教育」、「生涯学習」で構成することとし、各項目の目標・取組方針を整理しています。

なお、ここで整理した目標の実現をめざして、27項目の取組事業を点検・評価報告書で進行管理を行うこととしています。

## 1. 就学前教育

目標	取組方針	取組項目番号
<b>(1)「生きる力の基礎」の育成</b>		
学習の芽生えを育む	健やかな成長を促すためのさまざまな活動を通して好奇心や探究心を養います	1
社会生活における望ましい習慣や態度を養う	発達段階に即した指導を行います	1
人と関わる力を養うとともに、身近な人への愛情・信頼感を深める	集団生活の中で、友だちや先生との交流を行います	1
<b>(2)「切れ目のない保育・教育」の実現</b>		
幼稚園・保育所・認定こども園と小学校相互の保育・教育内容の理解を深める	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との交流・連携を図ります	1
安心して小学校に就学する	就学前教育を終了した子どもたちが、安心して小学校に就学できる環境を整えます	1
支援体制を確保する	障がいや発達状況に配慮した支援の充実を図ります	1

目標	取組方針	取組項目番号
<b>(3)家庭・地域の「子育て力」の向上</b>		
子育ての孤立化や不安の解消	子育て家庭のサポート体制の充実を図ります	1
学習機会の提供	発達段階に応じた家庭教育について学習する機会を提供します	1
子育て環境の整備	家庭、地域等との連携により、社会総がかりで育てる環境を整えます	1
<b>(4)需要と供給バランスのとれた公立園及び民間園の提供</b>		
待機児童の解消	公立園と民間園が連携し、待機児童の解消に取り組みます	1・3
公立園の適正配置	需要と供給の状況や公立園の老朽化などを踏まえたファシリティマネジメントに取り組みます	2
<b>(5)健全な育成を支援するための公立園の環境充実</b>		
安全で過ごしやすい施設環境の提供	園児がいきいきと過ごすことができる環境づくりや、老朽化する施設、備品等の計画的な更新に取り組みます	2

目標	取組方針	取組項目番号
(6)民間園への支援・連携の充実		
民間園運営等に対する補助及び各種情報の共有化	民間園が実施する幼児教育・保育等について、施設型給付・補助金等の運営支援を行うとともに、就学前教育を取り巻く各種情報の共有に取り組めます	3

## 2. 学校教育

目標	取組方針	取組項目番号
(1)自らの未来を切り拓く「確かな学力」の育成		
豊かな知識や技能を身につけた児童生徒を育む	基礎学力の確かな定着を図るとともに、社会の変化に対応した教育に取り組めます	4
主体的に判断・行動し、問題解決に導くことができる資質と能力を備えた児童生徒を育む	「思考力・判断力・表現力」を身につけることができる教育に取り組めます	4
	知的活動の基盤となる国語能力を向上させる読書活動に積極的に取り組めます	5
児童生徒一人ひとりの学ぶ意欲と個性をひきだす	教職員の資質と能力の向上を図ります	6
	「わかる授業づくり」を推進します	4
(2)「豊かな心」の育成		
人間性豊かな児童生徒の育成を育む	道徳的価値を深めることができる環境づくり、授業づくりに取り組めます	8
	豊かな人権感覚をもって行動し、一人ひとりの価値観や性別・国籍・障がいなどの「多様性」を認め合うとともに、人を思いやり、一人ひとりの感性を大切にする児童生徒を育みます	9
規範意識と豊かな情操を培う	「いずみあいさつ運動」をはじめ、地域で子どもたちを温かく見守る人々との交流を促進します	10

目標	取組方針	取組項目番号
<b>(2)「豊かな心」の育成</b>		
だれもが安心して過ごせる学校づくりの推進	いじめ、暴力行為、不登校などの未然防止や早期発見、早期対応に向けて必要な措置を講じるとともに、児童生徒が抱える課題の多様化に対応できる体制の構築に取り組みます	7
<b>(3)たくましく生きるための「健康・体力」の増進</b>		
成長の基礎となる健康・体力を増進する	運動習慣の定着に向けた取り組みを推進します	11
	心身両面の健全な発達を育む取り組みを推進します	11
心身の健康を増進する	自校調理による安全で栄養バランスの良い学校給食を提供し、家庭・地域と連携した食育を推進するとともに、食への理解を深めます	12
	各種健康診断や学校内事故に対する対応体制の確保など授業を受けるための環境支援に取り組みます	13
<b>(4)情報化・国際化社会で活躍する人材の育成</b>		
郷土和泉を誇りに思い愛する心を育む	郷土の伝統と文化を正しく理解し、深めるための教育に取り組みます	8

目標	取組方針	取組項目番号
国際社会に貢献する人材を育む	世界の人々と協働するため、国際社会への理解や英語力とコミュニケーション能力を高める教育に取り組みます	5・9
社会の情報化に対応した資質・能力を育む	デジタル機器を積極的に活用した教育に取り組みます	4
<b>(5)家庭・地域と連携した健全な子どもの育成</b>		
自ら進んで家庭で学習する児童生徒を育む	家庭・地域と連携し、基本的な生活習慣や社会的マナーを身につける教育に取り組みます	10
地域とともに歩む学校づくりの推進	社会総がかりで子どもを育む環境を整えます	10
<b>(6)教育環境の充実</b>		
学びの意欲を向上させる学習環境の提供	児童生徒が授業を受けやすい学習環境・教職員が授業を行いやすい環境づくりに取り組みます	14
安全・安心で快適な学校環境の提供	学校生活が快適に過ごせるような環境整備や少子化傾向・施設の老朽化を勘案したファシリティマネジメントに取り組みます	15

### 3. 生涯学習

目標	取組方針	取組項目番号
<b>(1)生涯を通じた「学習活動」の促進</b>		
一人ひとりが、生涯にわたり生きがいをもって豊かな人生を歩む	必要なときに必要な学びを提供できる環境整備に努めます	16
学習の成果を生かして活躍することができる場の提供と、地域に貢献する人材の育成、さまざまな交流やコミュニティの創出	学習の成果をいかして活動できる場の提供に取り組みます	16
	多様化する時代に即した地域社会、コミュニティの形成がなされる環境づくりに取り組みます	17
<b>(2)スポーツ交流による「人・地域」の親交の醸成</b>		
誰もが身近な場所でスポーツに親しみ、生きがいや健康を育む	スポーツを行う環境を整えます	18
スポーツを通じて地域の仲間たちと親交を深める	スポーツ活動の仕組みづくりに取り組みます	19
<b>(3)豊かな創造性と郷土愛を育む「文化・芸術」の振興</b>		
市民生活を心豊かで、潤いあるものとする	市民の創造性豊かな文化・芸術活動を支援します	20
地域の歴史資源や文化資源の保全に努めるとともに、これら資源に触れ合う機会を創出し、市民の誇りと郷土愛を育む	文化財の調査研究・保護継承に取り組みます	21
	史跡公園や歴史館など歴史学習の場の提供・活用に取り組みます	21
	久保惣記念美術館の施設や所蔵品を活かし美術に触れ合う機会・活動の場の創出に取り組みます	22

目標	取組方針	取組項目番号
<b>(4)将来を担う青少年の育成</b>		
健やかな青少年の育成	社会環境が及ぼす青少年への影響配慮や地域による見守りなどに取り組みます	23
	安全・安心して過ごせる児童の放課後活動の場の提供や次世代育成の観点による放課後活動対策に取り組みます	24
	子ども同士の交流ができる活動の場の提供に取り組みます	25
<b>(5)生涯における読書振興</b>		
生涯を通じた学習の一翼を担う読書の振興	図書館の提供だけでなく調査・探究を手助けする情報拠点として、図書館の管理・運営に取り組みます	26
	子どもたちが読書を通じ生きる力を育めるよう、子どもの頃から読書に親しめる環境づくりに取り組みます	26
<b>(6)国際交流の推進</b>		
多様な価値観を学び認め合う国際交流の推進	国籍や文化の違いを超えて、互いを尊重し、ともに活躍できるグローバル人材育成のため、国際交流の推進に取り組みます	27

## IV 点検・評価報告書

教育委員会活動における評価・点検については、和泉市教育振興基本計画の進行管理を兼ねることとしています。

については、和泉市教育大綱、和泉市教育振興基本計画の目標を達成するために推進している事業を27事業に分類し、その事業単位でとりまとめを行い、全体的な取組評価だけでなく、令和6年度における特に効果のあった内容や次年度への課題を整理しています。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	1	事業名	公立保育所・公立幼稚園の運営	担当課	教育・こども部こども未来室幼保育成担当、 学校教育室人権教育担当
--------	---	-----	----------------	-----	-------------------------------------

予算額	733	百万円	決算額	692	百万円	※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載
-----	-----	-----	-----	-----	-----	--

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
「生きる力の基礎」の育成	学習の芽生えを育む	健やかな成長を促すためのさまざまな活動を通して、好奇心や探求心を養う	①絵本の読み聞かせなどの情操教育 ②自然に親しむ園外活動などの体験学習 ③野菜の栽培などの菜園活動、食事の手伝いやクッキングなどの食育
	社会生活における望ましい習慣や態度を養う	発達段階に即した指導を行う	④災害避難訓練・消火訓練・不審者対処避難訓練 ⑤手洗い、歯磨き指導
	人と関わる力を養うとともに、身近な人への愛情・信頼感を深める	集団生活の中で友だちや先生との交流を行う	⑥国際理解教育の推進 ⑦自己肯定感を育てる保育

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
「切れ目のない保育・教育」の実現	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校相互の保育・教育内容の理解を深める	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との交流・連携を図る	⑧保育士・幼稚園教員と小学校教員の合同研修並びに架け橋プログラムの研究 ⑨小学校教員による半日保育体験
	安心して小学校に就学する	就学前教育を終了した子どもたちが、安心して小学校に就学できる環境を整える	⑩小学校授業見学や交流(対面・WEB活用) ⑪地域教育協議会への市内全園参加 ⑫他園(小学校区内)との交流
	支援体制を確保する	障がいや発達状況に配慮した支援の充実を図る	⑬巡回相談を行い助言、加配職員の配置

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	1	事業名	公立保育所・公立幼稚園の運営	担当課	教育・こども部こども未来室幼保育成担当、 学校教育室人権教育担当
--------	---	-----	----------------	-----	-------------------------------------

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
家庭・地域の「子育て力」の向上	子育ての孤立化や不安の解消	子育て家庭のサポート体制の充実を図る	⑭育児教室・園庭開放(在宅児)
	学習機会の提供	発達段階に応じた家庭環境について学習する機会を提供する	⑮子育て支援室等関係機関と連携し学習会等の案内
	子育て環境の整備	家庭、地域等との連携により、社会総がかりで育てる環境を育てる	⑯関係機関と連携し、子育てに関する情報提供

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
需要と供給のバランスのとれた公立園及び民間園の提供	待機児童の解消	公立園と民間園が連携し、待機児童の解消に取り組む	⑰任期付職員・会計年度職員の採用

#### ●令和5年度の課題と改善策

⑧⑨架け橋プログラムに関する研修や学校・園相互の見学、交流等を通して相互理解が進んできているが、日程調整が難しい等の理由により、校区により取組みの度合いに差がある。学校教育室と連携し、園・学校に参観等の案内を行い、また、市内の実践事例を紹介し意見交換の場を設けることで情報提供に努め、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校との接続を更に進める。

⑰会計年度任用職員の雇用が思うようにできていない。短時間等の勤務形態を増やして募集をしているが、応募者側のニーズを考慮しながら更に多様な勤務形態の募集を検討する必要がある。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	1	事業名	公立保育所・公立幼稚園の運営	担当課	教育・こども部こども未来室幼保育成担当、 学校教育室人権教育担当
--------	---	-----	----------------	-----	-------------------------------------

##### ●令和6年度の事業評価

「生きる力の基礎」の育成	<p>①職員による読み聞かせに加え、地域人材による読み聞かせを行った。(R6:87回、R5:86回)</p> <p>②③社会見学や地域探検などの園外活動、菜園活動を実施した。(R6:79回、R5:76回)</p> <p>④すべての園で、毎月、災害避難訓練・不審者対処避難訓練を行った。また、毎月消火訓練を行った。</p> <p>⑤手洗い・うがい、歯磨き指導について、歌や視覚教材を活用した指導を行い、基本的な生活習慣の確立につなげた。</p> <p>⑥韓国の民族衣装や楽器に触れたり、フラダンスを鑑賞したりするなど、地域人材を活用し、他国の言葉や遊びに触れる機会を創出した。</p> <p>⑦主体性を育む環境づくりを行ったことにより、自己肯定感の向上と人と関わる力の育成につなげた。</p>
「切れ目のない保育・教育」の実現	<p>⑧⑨⑩⑪⑫幼保小の架け橋プログラムとして、スタートカリキュラム担当者会を開催し、小学校教諭、公立私立の保育園・幼稚園・こども園の職員の交流の場を創出した。また、保育園、幼稚園、こども園と小学校との合同研修や小学校教諭による園見学、半日保育参加の実施(R6:4回、R5:5回)により、相互理解を深め、近隣の学校・園の縦のつながり、他園との横のつながりが増え、小学校就学に向けて安心できる環境を整えた。</p> <p>⑬心理士と関係機関で公民36園の巡回相談(前期・後期)を行うとともに、子どもの行動観察や職員配置の助言等により、特別支援児保育の充実を図った。5歳児に関しては、学校教育室の指導主事や小学校教諭も参加し支援方法を共有できた。</p>
家庭・地域の「子育て力」の向上	<p>⑭⑮⑯在宅児を対象に毎月1～2回の園庭開放・育児教室を実施し、遊びの提供や育児相談に努めたほか、関係機関と連携した発達に関する学習会や子育て広場を案内するなど、子育て家庭のサポートができた。また、在園児家庭に対しては、登降園時等の日常的な声かけを通じて、子どもの状況の共有や相談対応、情報提供を行うなど、子育て家庭のサポートができた。</p>
需要と供給のバランスのとれた公立園及び民間園の提供	<p>⑰広報やホームページでの周知に加え、ハローワーク等に保育士募集の案内を行った。また、多様な勤務形態で募集を行うなど保育士確保に努めたが、会計年度任用職員の応募が少なく、十分な配置ができなかった。</p> <p>任期付職員については、2回募集を行ったものの、8人の採用予定に対して4人採用に留まった。(11月…8人募集・7人応募・5人合格・1人辞退、2月…3人募集・1人応募・合格なし)</p>

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
職員研修(保幼小連携・主体的な保育・支援児保育等)参加者延べ人数(目標値:564人) (前年度参加者数より、民間園(25園)の参加者を増加させる)	514 ( 95.4% )	539 ( 100.0% )	592 ( 105.0% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	1	事業名	公立保育所・公立幼稚園の運営	担当課	教育・こども部こども未来室幼保育成担当、 学校教育室人権教育担当
--------	---	-----	----------------	-----	-------------------------------------

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

⑧⑨架け橋プログラムに関する理解や担当者の交流が一定は進んでいるものの、校区や地域がさらに相互理解を深めるために幼稚園、保育園、認定こども園、小学校との合同研修会や意見交換の場を設け情報提供に努めていく。「架け橋期」においては、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校が意識的に協働し、幼児期の遊びを通じた学びと小学校の学びをつなぐため、接続、連携を進めていく。  
⑩会計年度任用職員の雇用が思うようにできていない。短時間等の勤務形態を増やして募集をしているが、応募者側のニーズを考慮しながら、更に多様な勤務形態の募集を検討していく。

●評価委員からの主な意見

保育士(会計年度任用職員)の雇用については、近隣市と比較して高い水準の報酬とするなど人員確保に努めていることについて評価する。  
十分な保育士配置ができるよう、引き続き人員確保に努められたい。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	2	事業名	公立保育所・公立幼稚園の施設維持管理	担当課	教育・こども部こども未来室幼保運営担当、 学校園管理室教育施設担当
--------	---	-----	--------------------	-----	--------------------------------------

予算額	150	百万円	決算額	108	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
需要と供給バランスのとれた公立園及び民間園の提供	公立園の適正配置	需要と供給の状況や公立園の老朽化などを踏まえたファシリティマネジメントに取り組む	①北松尾幼稚園と北松尾保育園を前倒して認定こども園化することを決定 ②芦部保育園民営化に伴い、認定こども園の建設費用の一部を補助 ③令和9年度の北西部公立認定こども園(教育センター跡地)の開設に向け、実施設計業務に着手

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
健全な育成を支援するための公立園の環境充実	安全で過ごしやすい施設環境の提供	園児がいきいきと過ごすことができる環境づくりや、老朽化する施設、備品等の計画的な更新に取り組む	④各保育所、各幼稚園の物品購入希望を聴取し、計画的かつ効率的に物品を調達

#### ●令和5年度の課題と改善策

②③芦部保育園の民営化及び公立認定こども園の開園について、消防本部や教育センターの移転の進捗等を踏まえた対応が必要であるため、関係部署と情報共有しながら整備を進める。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	2	事業名	公立保育所・公立幼稚園の施設維持管理	担当課	教育・こども部こども未来室幼保運営担当、 学校園管理室教育施設担当
--------	---	-----	--------------------	-----	--------------------------------------

##### ●令和6年度の事業評価

需要と供給バランスのとれた公立園及び民間園の提供	①北松尾幼稚園・保育園の認定こども園化について、第2回市議会定例会や第5回教育委員会定例会での報告を踏まえ、令和8年4月に開園することを決定した。 ②芦部保育園民営化について、令和8年4月の開園に向け、事業者との協議や保護者説明会(2回開催)を実施し、建設工事に着工するなど、概ねスケジュール通りに事業を進捗することができた。 ③北西部公立認定こども園について、令和9年4月の開園に向け、基本設計を完了し実施設計に着手した。
健全な育成を支援するための公立園の環境充実	④園現場の物品購入希望を聴取し、複数園の物品を一括購入するなど現場の意見・要望を反映しつつ効率的な物品の調達が行われた。

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
芦部保育園の民営化に伴う民間認定こども園の事業進捗率 (目標値 R8.4.1時点100%:R5事業者決定、R6整備補助、R7整備補助・引継ぎ保育) (※達成状況の指標はR5:33% R6:66% R7:100%と設定)	0 ( — )	33 ( 100.0% )	66 ( 100.0% )	S
教育センター跡地の公立認定こども園の事業進捗率 (目標値 R9.4.1時点100%:R5基本計画、R6基本・実施設計、R7設計・工事、R8工事) (※達成状況の指標はR5:25% R6:50% R7:75% R8:100%と設定)	0 ( — )	25 ( 100.0% )	50 ( 100.0% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

②③芦部保育園の民営化及び公立認定こども園の開園について、旧消防庁舎の防災備蓄倉庫整備や教育センターの除却の進捗等を踏まえた対応が必要であるため、関係部署と情報共有しながら整備を進める。
---

##### ●評価委員からの主な意見

公立認定こども園の開園にあたっては、他の公立園の統廃合民営化なども含め、計画的な人員確保に取り組まれない。
---

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	3	事業名	民間園への支援と連携	担当課	教育・こども部こども未来室幼保運営担当、幼保育成担当
--------	---	-----	------------	-----	----------------------------

予算額	6,377	百万円	決算額	6,150	百万円	※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載
-----	-------	-----	-----	-------	-----	--

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
需要と供給バランスのとれた公立園及び民間園の提供	待機児童の解消	公立園と民間園が連携し、待機児童の解消に取り組む	①総合的かつ一体的なこども施策を実施するための「(仮称)和泉市こども計画」において、待機児童解消に向けて、保育需要(令和7～11年度)を踏まえた確保策を策定 ②育休復帰・就労予定の保育士の子どもを優先的に入所 ③和泉市で新たに勤務する保育士等を対象とした就職支援補助金を拡充(採用1年目に加え、2年目にも支給)

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
民間園への支援・連携の充実	民間園運営等に対する補助及び各種情報の共有化	民間園が実施する幼児教育・保育等について、施設型給付・補助金等の運営支援を行うとともに、就学前教育を取り巻く各種情報の共有に取り組む	④施設型給付や各種補助金交付 ⑤市主催等の研修を民間園へも周知し保育・教育の質を高める機会を共有 ⑥みなまつ保育園の施設修繕を補助

#### ●令和5年度の課題と改善策

①②③令和5年4月時点で市西北部地域で13人の待機児童が発生している。ひばり幼稚園認定こども園化による効果等を踏まえ、令和6年度の待機児童及び保留児童について確認を行うとともに、令和6年度に実施するニーズ調査において、保育ニーズの必要性を見極め対策の検討を行う。
---

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	3	事業名	民間園への支援と連携	担当課	教育・こども部こども未来室幼保運営担当、幼保育成担当
--------	---	-----	------------	-----	----------------------------

##### ●令和6年度の事業評価

需要と供給バランスのとれた公立園及び民間園の提供	①「和泉市こどもまんなか計画」において、保育需要の拡大に対応するべく、既存保育施設による定員拡充や中部地域における新園開設を定めた。 ②本市の保育所等で就労する保育士等の子ども22人の優先入所を行った。(R5:16人) ③新たに勤務した37人と、2年目の30人の保育士等に対して補助金を交付した。(R5:29人)
民間園への支援・連携の充実	④安定した民間園の運営に向け、適正に施設型給付費等の給付や補助金の交付を行った。 ⑤民間園に19件の市主催研修を案内し、118人が受講したことで、民間保育士等の資質向上につながった。(R5:125人) ⑥みなまつ保育園の大規模修繕に対して、補助金を交付した。

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
待機児童数(目標値:0人)	16 ( 99.6% )	13 ( 99.7% )	2 ( 99.9% )	A

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①令和6年4月時点で中部地域で2人の待機児童が発生している。令和6年度にニーズ調査を実施し、策定した「和泉市こどもまんなか計画(令和7年度から令和11年度の5か年計画)」に基づき、中部地域での新園開設などの対策を行う。  ※予算額と決算額の差異(227百万円)の主な要因は、システム標準化改修委託(46百万円)について、当初予定していたシステム業者での対応が困難となり実施を見送ったこと及び、いぶきのPreSchool大規模修繕(99百万円)について、国の補助が見送られたことに伴い市の補助も見送ったことによるもの。
--

##### ●評価委員からの主な意見

北西部地域における待機児童が解消されたことについて評価する。引き続き、待機児童の解消に努められたい。
--

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	4	事業名	学力向上	担当課 (機構改革前)	教育・こども部学校教育室教育センター、教育指導担当、 人権教育担当
				担当課 (機構改革後)	教育・こども部学校教育室教育推進担当

予算額	543	百万円	決算額	497	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
自らの未来を切り拓く「確かな学力」の育成	豊かな知識や技能を身に付けた児童生徒を育む	基礎学力の確かな定着を図るとともに、社会の変化に対応した教育に取り組む	①関係部局との合同研修による幼児教育と小学校教育を一貫する研究 ②いずみ希望塾の実施 ③児童生徒の学習習慣の定着や自学自習力の向上をめざしたAIドリルの導入
	主体的に判断・行動し、問題解決に導くことができる資質と能力を備えた児童生徒を育む	「思考力・判断力・表現力」を身につけることのできる教育に取り組む	④各学校の取組好事例を全校に普及 ⑤「主体的・対話的で深い(STF)和泉の学び育成プラン」を活用し、授業改善の取組みをさらに充実 ⑥プログラミング的思考の育成について、PDCAサイクルをまわすことにより年間指導計画を改善
	児童生徒一人ひとりの学ぶ意欲と個性をひきだす	「わかる授業づくり」を推進する	⑦「主体的・対話的で深い(STF)和泉の学びプロジェクト」による授業改善の進め方検討、校内研修等の好事例を他校にも広げるポータルサイトの充実 ⑧研究校(小学校1校)において、リーディングスキルテスト(RST)を実施し、結果分析に基づいて授業改善 ⑨中学1年生において独自の少人数数学級編制を実施

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	社会の情報化に対応した資質・能力を育む	デジタル機器を積極的に活用した教育に取り組む	⑩1人1台学習用端末を活用した授業づくり並びに個別最適で協働的な学びの推進のための研修

#### ●令和5年度の課題と改善策

④⑤学力向上において成果を上げている学校の取組みを水平展開するとともに、学校訪問を通してその取組み進捗状況の把握及び指導助言を行う。  
⑩1人1台学習用端末について、NEXT GIGAを見据えて、とにかく使ってみる段階からより効果的に活用する段階へ進んでいくために、どのように活用すれば効果的であるかについて、和泉市学校教育情報化推進計画(R6年12月策定予定)も踏まえ今後も研究を進めていく。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	4	事業名	学力向上	担当課 (機構改革前)	教育・こども部学校教育室教育センター、教育指導担当、 人権教育担当
				担当課 (機構改革後)	教育・こども部学校教育室教育推進担当

##### ●令和6年度の事業評価

<p>自らの未来を切り拓く「確かな学力」の育成</p>	<p>①保育園・幼稚園・こども園への体験保育や見学、合同担当者会議など私立公立の垣根を越えた連携により、子どもの姿の共有ができた。                  ②いずみ希望塾を6会場11区分で実施し、890人の申込があり853人が受講した(R5:856人)。中学生は年度当初からの辞退者を除き、全員受講可となった。小学生は年度途中も含め、辞退者を除き、全員受講可となり、学習の機会を確保できた。(対面指導:40回、家庭学習履歴確認支援:40回)                  ③中学校では、AIDリルを週に1度以上使用している生徒の割合が、4月平均25%から年間平均43%まで上昇した。                  ④学校訪問や授業改善担当者会等を通じて、好事例の普及を行った。(学校訪問:90回、授業改善担当者会:4回)                  ⑤学校訪問時に「主体的・対話的で深い(STF)和泉の学び育成プラン」を活用し、授業改善についての指導助言を行った。また、具体的な取組みを記載するプランを作成し、各校の取組みの進捗状況の確認等に活用した。                  ⑥プログラミング的思考の育成について、PDCAサイクルにより年間指導計画を改善した。                  ⑦好事例共有のためのポータルサイトの充実を図った。(掲載増加件数:令和6年度 全体3,175件で757件増加)                  ⑧研究校1校の結果分析から、効果がみられた取組み(言葉の意味をわかっていない子が一定数いるという前提で教材研究を行うこと、意図的に同義となるような言い換えを行うことなど)や基礎的な読解力を育むための視写や暗唱の取組みについて、学校訪問や研修を通じて普及を行った。                  ⑨市費任期付教育職員を配置し、中学1年生において独自の少人数学級(35人学級)を編制することで、生徒一人ひとりへの指導、支援の充実を図ることができた。</p>
<p>情報化・国際化社会で活躍する人材の育成</p>	<p>⑩ICT担当者研修を3回開催し、1人1第学習用端末を活用した授業づくりや個別最適で協働的な学びを推進することができた。</p>

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	4	事業名	学力向上	担当課 (機構改革前)	教育・こども部学校教育室教育センター、教育指導担当、 人権教育担当
				担当課 (機構改革後)	教育・こども部学校教育室教育推進担当

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
全国学力・学習状況調査における対府比(小6)(目標値:1.00)	0.99 ( 99.0% )	0.95 ( 95.0% )	1.00 ( 100.4% )	S
全国学力・学習状況調査における対府比(中3)(目標値:1.00)	0.98 ( 98.0% )	0.90 ( 90.0% )	0.94 ( 94.0% )	A
児童生徒アンケートにおける授業に関する項目の肯定的回答割合(小学生)(目標値:85.0%)	82.1 ( 96.6% )	82.8 ( 97.4% )	82.7 ( 97.3% )	A
児童生徒アンケートにおける授業に関する項目の肯定的回答割合(中学生)(目標値:85.0%)	81.4 ( 95.8% )	82.5 ( 97.1% )	83.1 ( 97.8% )	A

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

- ③AIドリルの活用が進んできているものの、学校間や教員間での差があるため、使用場面や方法を検討し、効果的な活用を推進する。  
④⑤学校訪問等を通して、各学校の取組み進捗状況を把握するとともに、学力向上において成果を上げている学校の取組みを水平展開する。

##### ●評価委員からの主な意見

今後、全国学力・学習状況調査等においてもCBT方式での調査が増えてくるため、実施にあたっては本番で支障が出ないよう十分に準備されたい。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	5	事業名	英語教育・読書教育	担当課 (機構改革前)	教育・こども部学校教育室人権教育担当
				担当課 (機構改革後)	教育・こども部学校教育室教育推進担当

予算額	158	百万円	決算額	156	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	国際社会に貢献する人材を育む	世界の人々と協働するため、国際社会への理解や英語力とコミュニケーション能力を高める教育に取り組む	①実用英語技能検定の受検料を補助することにより、主体的に英語活用に取り組む姿勢や英語運用能力の向上 ②教員の授業力、指導と評価の一体化に向けた研修等を実施 ③ALTを19人配置し、英語活用の実際の場面やコミュニケーションを主眼とした授業の実施

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
自らの未来を切り拓く「確かな学力」の育成	主体的に判断・行動し、問題解決に導くことができる資質と能力を備えた児童生徒を育む	知的活動の基盤となる国語能力を向上させる読書活動に積極的に取り組む	④学校図書館司書の資質向上や、各校の取組みなどの情報共有を目的とした学校図書館司書連絡協議会の開催 ⑤学校図書館の学習・情報・読書センター機能の充実に向けて、各校の取組事例を司書教諭連絡協議会及びポータルサイトで共有 ⑥槇尾学園開校に向けて、槇尾中学校の学校図書館蔵書管理の電算化

#### ●令和5年度の課題と改善策

①②③英検3級相当(CEFR:A1相当)以上の中学3年生の割合を60%以上とする目標に対して、上昇は見られるものの依然として50%を下回っている。生徒の英検受検をより一層促すとともに、ALTを生かした授業づくりができるよう、担当教員の授業力向上にかかる研修の充実を図る。  
④全国学力・学習状況調査(国語)における対府比を向上させるため、司書教諭連絡会、学校図書館司書連絡協議会を通じて、府の「学校図書館を充実・活用するためのモデル校」の実践や好事例を発信するとともに、学校図書館の電算化等を通じて、読書活動を推進し、市全体の言語能力の育成を図る。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	5	事業名	英語教育・読書教育	担当課 (機構改革前)	教育・こども部学校教育室人権教育担当
				担当課 (機構改革後)	教育・こども部学校教育室教育推進担当

#### ●令和6年度の事業評価

情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	<p>①英検3級相当(CEFR:A1相当)以上の中学3年生の割合が上昇(R5:46.7%⇒R6:49.7%)し、主体的に英語活用に取り組む姿勢及び英語運用能力の向上が見られた。</p> <p>②英語コーディネーターの授業公開研修を実施し、小学校英語専科教員と中学校及び義務教育学校の担当教員による研究協議を通して、小中の系統的な指導と評価について理解を深化させるとともに教員の授業力向上を図った。</p> <p>③19人のALTを市内全校に配置し、コミュニケーションを主眼とした授業実践に取り組んだ。英語教員アンケート「クラスルームイングリッシュを使用し、英語による授業展開をしている」の項目では、肯定的回答の割合が上昇(R5:85.2%⇒R6:88.0%)し、小学校教員の英語活用への意欲向上も見られた。</p>
自らの未来を切り拓く「確かな学力」の育成	<p>④司書教諭連絡協議会を年間1回、学校図書館司書連絡協議会を年間3回実施し、各校における取組みの情報共有を行うとともに、学校図書館を活用した授業づくりについて好事例を発信することで、市全体の言語能力向上の必要性や課題意識を高めることができた。</p> <p>⑤各校の学校図書館を活用した授業づくりの取組事例を共有できた。また、府の「学校図書館を充実・活用するためのモデル校」である槇尾中学校の実践も共有できた。</p> <p>⑥槇尾中学校区の学校図書館蔵書の電算化を行い、令和7年度の槇尾学園開校の準備を整えた。</p>

#### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
英検3級相当(CEFR:A1相当)以上の中学3年生の割合(目標値:60.0%以上:令和9年度達成(R6 51.0%、R7 54.0%、R8 57.0%))	44.8 ( 74.7% )	46.7 ( 77.8% )	49.7 ( 82.8% )	B
全国学力・学習状況調査(国語)における対府比(小6)(目標値:1.00)	0.98 ( 98.0% )	0.95 ( 95.0% )	1.01 ( 101.0% )	S
全国学力・学習状況調査(国語)における対府比(中3)(目標値:1.00)	1.00 ( 100.0% )	0.93 ( 93.0% )	0.96 ( 96.0% )	A

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	5	事業名	英語教育・読書教育	担当課 (機構改革前)	教育・こども部学校教育室人権教育担当
				担当課 (機構改革後)	教育・こども部学校教育室教育推進担当

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①②③英検3級相当(CEFR A1 相当)以上の中3生の割合を令和9年度までに60%とする目標に対して、段階的な上昇がみられているが、府・国の数値を下回っている。令和7年度は、中学校全生徒を英検受験料補助の対象に拡充することで、生徒の受験をより一層促す。また、小学校においては英語専科教員、中学校においては英語コーディネーターを中心に具体的な授業実践を通じて、授業力向上に向けた研修や担当者会を実施する。

④電算化を行った槇尾学園の学校図書館活用の取組みをはじめ、効果的な取組みについて、共有を図る。また、司書教諭連絡会、学校図書館司書連絡協議会と連携し、国語科を中心としたさまざまな教科での学校図書館を活用した授業づくりを行うとともに、使いやすく魅力的な学校図書館となるよう環境づくりをすすめることで読書活動の推進を図る。

●評価委員からの主な意見

英検受験料補助対象の拡充による意欲の向上を期待することだけではなく、授業改善の充実により英語の学力向上に取り組むことも重要だと考える。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	6	事業名	教職員の資質向上	担当課 (機構改革前)	教育・こども部学校教育室教育センター、教職員担当
				担当課 (機構改革後)	教育・こども部学校教育室教育推進担当、教職員担当

予算額	38	百万円	決算額	33	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
自らの未来を切り拓く「確かな学力」の育成	児童生徒一人ひとりの学ぶ意欲と個性をひきだす	教職員の資質と能力の向上を図る	①「主体的・対話的で深い(STF)和泉の学び」を推進するため全校訪問を実施し、授業改善の取組み普及 ②これからの子どもたちが身につける「資質・能力」の育成をめざし、公開校内研修の充実、自ら学ぼうとする教員を育成するための重点研修や和泉市一括募集研修等を充実 ③スクールサポートスタッフ配置校を12校から14校に拡充

#### ●令和5年度の課題と改善策

- ①中学校の授業改善をさらに推進するために、STF和泉の学び研究推進事業モデル指定校の学校公開へ全中学校の教員が参加できるようにする。  
 ③教員の働き方改革については、学校行事の精選(宿泊行事の日帰り実施・運動会の半日実施等)等は図られているものの、長期間に及ぶ生徒・保護者対応や昨今の教員(講師)不足等のため、業務過多となっている教員が一定数存在する。各校における生徒指導体制の改善や校務分掌の平準化を図る必要がある。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	6	事業名	教職員の資質向上	担当課 (機構改革前)	教育・こども部学校教育室教育センター、教職員担当
				担当課 (機構改革後)	教育・こども部学校教育室教育推進担当、教職員担当

##### ●令和6年度の事業評価

自らの未来を切り拓く「確かな学力」の育成	<p>①年間90回の全校訪問を行い、授業改善にかかる指導助言を行うとともに、訪問で収集した好事例を「IZUMI e シェアリング」に随時追加掲載することで、ポータルサイトの充実を図ることができた。(掲載増加件数: 757件)</p> <p>②公開校内研修や自ら学ぼうとする教員を育成するための重点研修及び和泉市夏季・冬季一括募集研修など、各校への積極的な情報発信や開催曜日の工夫を行い、教員の学ぶ機会を増加させることができた。(公開校内研修: 66回、重点研修: 10回、一括募集研修: 8回、STF和泉の学び研究推進事業モデル指定校学校公開のべ438人参加)</p> <p>③スクールサポートスタッフ配置校の所属教員へのアンケート調査では、「業務量の軽減や時間外勤務の短縮につながった」の肯定的回答が前年比1.9ポイント向上(R5:92.6%、R6:94.5%)し、教員の働き方の充実を図ることができた。また、新規に配置した2校の時間外勤務時間は、1人あたりの月の時間外勤務時間が8時間程度減少した。</p>
----------------------	---

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
教員アンケート(資質・能力を育む授業づくり)の数値の肯定的回答割合の向上(目標値: 85.0%)	82.7 ( 97.3% )	85.2 ( 100.2% )	85.4 ( 100.5% )	S

※達成度の凡例 S: 目標達成 A: 達成率90%以上 B: 達成率80%以上 C: 達成率80%未満(前年度より改善) D: 達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

<p>②授業改善の取組みをさらに進めるために、学校公開や研修を積極的に行い、教員の学びの場の充実を図る。</p> <p>③スクールサポートスタッフ配置校については、未配置校と比べ、時間外勤務時間がわずかに減少している成果が見られた。依然、時間外勤務時間が多い教員も一定数いるため、今後も順次、スクールサポートスタッフの活用を推進するとともに、各学校における教育課程編成の見直しを実施する等、労働環境や業務の改善を図る。</p>
---

##### ●評価委員からの主な意見

<p>スクールサポートスタッフ配置の取組みについて評価する。引き続き人材を確保のうえ、適正に配置されたい。</p>
---

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	7	事業名	生徒指導・教育相談体制の充実	担当課 (機構改革前)	教育・こども部学校教育室教育指導担当、教育センター
				担当課 (機構改革後)	教育・こども部学校教育室児童生徒支援担当

予算額	45	百万円	決算額	45	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
「豊かな心」の育成	だれもが安心して過ごせる学校づくりの推進	いじめ、暴力行為、不登校などの未然防止や早期発見、早期対応に向けて必要な措置を講じるとともに、児童生徒が抱える課題の多様化に対応できる体制の構築に取り組む	①スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置回数・時間数の拡充 ②スクールロイヤー、社会福祉士(正職員)の教育委員会事務局への配置 ③臨床心理士による発達検査及び行動改善支援

#### ●令和5年度の課題と改善策

①②日々生起するケースの重篤化を防ぐため、多職種の専門家が適切なタイミングで連携できるようスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置時間を継続的に拡充していく。また、更にチーム学校としての組織対応を充実させるために、総合教育会議での議論を踏まえ、市教育委員会にスクールロイヤー及び社会福祉士を配置し、様々な事案について学校等に適切な対応を指導助言する市緊急支援チームの機能を充実させていく。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	7	事業名	生徒指導・教育相談体制の充実	担当課 (機構改革前)	教育・こども部学校教育室教育指導担当、教育センター
				担当課 (機構改革後)	教育・こども部学校教育室児童生徒支援担当

##### ●令和6年度の事業評価

「豊かな心」の育成	<p>①②スクールカウンセラーの配置回数(R5より小学校2校8回ずつ増)及びスクールソーシャルワーカーの配置時間数(R5:2,800時間→R6:3,200時間)を拡充するとともに、新たにスクールロイヤー(年間72時間)と正職員の社会福祉士の配置により、専門家を活用した組織的なチーム対応の体制づくりが進むとともに、問題行動や不登校の要因を専門的な観点から分析したり、学校の対応に対し法的観点から助言を行ったりしたことで、教職員が自信をもって対応できるようになるなど、多様化する学校の生徒指導課題への対応が充実した。</p> <p>③臨床心理士により、児童生徒の発達検査を197件行い、検査後、保護者と関係教員に対して行動改善支援を行うことができた。</p>
-----------	--

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
新規不登校児童数(千人率)の減少(目標値 12.0)	13.3 ( 89.2% )	9.7 ( 119.2% )	10.3 ( 116.5% )	S
新規不登校生徒数(千人率)の減少(目標値 25.0)	26.4 ( 94.4% )	28.0 ( 88.0% )	25.2 ( 99.2% )	A
相談・指導等を受けていない不登校児童生徒数の減少(目標値 0人)	309 ( 42.5% )	7 ( 98.7% )	0 ( 100.0% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①スクールソーシャルワーカーの人材確保と定着に課題があることから、スクールソーシャルワーカーを、これまでの他自治体と兼務する人材に代えて、週5日本市で勤務する会計年度任用職員として雇用する。
---

##### ●評価委員からの主な意見

不登校対策については、国や府に比べて成果が出ていることについて評価する。引き続き、取組みを進められたい。
--

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	8	事業名	道徳教育	担当課	教育・こども部学校教育室人権教育担当
--------	---	-----	------	-----	--------------------

予算額	0	百万円	決算額	0	百万円
-----	---	-----	-----	---	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
「豊かな心」の育成	人間性豊かな児童生徒を育む	道徳的価値を深めることができる環境づくり、授業づくりに取り組む	①「特別の教科 道徳」について、道徳教育推進教師の研修 ②道徳教育全体計画の別葉の活用を推進

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	郷土和泉を誇りに思い愛する心を育む	郷土の伝統と文化を正しく理解し、深めるための教育に取り組む	③伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度を育成し、郷土への誇り、地域における伝統などについて理解を深める「特別の教科 道徳」の授業を実施 ④社会科副読本「わたしたちの和泉市」、郷土史読本「こがねちゃんとかかけよう！いずみ歴史さんぽ」「郷土の学習」等を活用し、児童生徒の郷土和泉を誇りに思い愛する心を育む授業を実施(対象学年ごとに年間1回以上)

#### ●令和5年度の課題と改善策

②「和泉市豊かな心を育む授業公開」を実施し、道徳科の授業について家庭や地域に理解してもらうことはできたが、「考え議論する道徳」が求められる中、「道徳性の涵養」は、学校教育だけではなく、家庭・地域と一体となり取り組む必要がある。令和6年度からは、地域と連携した道徳の取組みを充実させるため道徳教育全体計画別葉の活用を推進し、好事例を情報発信する。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	8	事業名	道徳教育	担当課	教育・こども部学校教育室人権教育担当
--------	---	-----	------	-----	--------------------

##### ●令和6年度の事業評価

「豊かな心」の育成	①和泉市道徳教育推進教師研修会及び府教育庁等主催の研修(合計年間5回)を通して、道徳教育推進教師のスキルアップに努めた。(30校中30校) ②全校において「学校教育全体で行う道徳教育」を展開するにあたり、「道徳教育全体計画の別業」を活用した。地域等と連携した取組みの充実を図り、学校から地域に向けて取組内容について情報を発信した。(30校中30校)
情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	③④各学校において、郷土への誇り、地域における伝統などについて理解を深めるための授業を、社会科副読本や郷土史読本を活用して実施した。(全国学力・学習状況調査における「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」の肯定的回答:小学校80.8%、中学校72.6%)

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」の肯定的回答割合(小6)(目標値:88.0%)	87.0 ( 98.9% )	82.0 ( 93.2% )	89.1 ( 101.3% )	S
全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」の肯定的回答割合(中3)(目標値:80.0%)	79.0 ( 89.8% )	78.0 ( 88.6% )	87.6 ( 109.5% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

②全校において、「道徳教育全体計画の別業」を活用して道徳教育を推進することはできた。しかし、保護者や地域の人々の参画等による家庭や地域社会と一体となった道徳教育に関する取組みの推進、及び積極的な情報発信については改善の余地があるため、今後、ブログや学校通信による情報発信について学校への助言を進めていく。
--

##### ●評価委員からの主な意見

道徳教育に関しては、情報発信だけでなく地域の方をゲストティーチャーとして招くなど直接交流できるような取組みについても推進されたい。
---

IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	9	事業名	人権を尊重した教育	担当課	教育・こども部学校教育室人権教育担当
--------	---	-----	-----------	-----	--------------------

予算額	312	百万円	決算額	303	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
「豊かな心」の育成	人間性豊かな児童生徒を育む	豊かな人権感覚をもって行動し、一人ひとりの価値観や性別・国籍・障がいなどの「多様性」を認め合うとともに、人を思いやり、一人ひとりの感性を大切にする児童生徒を育む	①人権教育、支援教育に係る教職員への研修実施 ②支援学級介助員、通常学級で支援を要する児童生徒への支援を行う支援員、学校看護師、学習支援サポーター及び学校看護師コーディネーターを配置 ③語学指導員の派遣時間数を前年度より500時間増の1,600時間に増加するとともに、全校に同時翻訳システム用の設備を配備

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	国際社会に貢献する人材を育む	世界の人々と協働するため、国際社会への理解や英語力とコミュニケーション能力を高める教育に取り組む	④日本語指導が必要な児童生徒や外国人児童生徒に対する理解を広げ、深めるための在日外国人教育研修を実施

●令和5年度の課題と改善策

③④日本語指導が必要な児童生徒の増加が今後も見込まれる。日本語未習得の状態で渡日する児童生徒も増えており、語学指導員の派遣や翻訳機の導入等で対応していく。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	9	事業名	人権を尊重した教育	担当課	教育・こども部学校教育室人権教育担当
--------	---	-----	-----------	-----	--------------------

##### ●令和6年度の事業評価

「豊かな心」の育成	<p>①人権教育実践交流会(年間3回)を実施し、経験年数の少ない教員の実践力の向上を図るとともに、認知機能強化研修(コグトレ)(年間6回)、支援教育コーディネーター研修(年間4回)、和泉市支援教育研修(年間3回)、通級指導担当者会(リーダー:7回、全体:10回)を通じ、支援を要する児童生徒への適切な支援及び対応について教員の資質向上を図った。また、箕面市の教諭を講師に招き、全校の管理職及び担当教員を対象に「LGBTQの児童生徒の存在を認識した学校での取組み」についての研修を実施し、教員の性の多様性への理解を深めることができた。(事後アンケート「学校の取組み推進の参考になった」肯定的回答:88.2%)</p> <p>②③支援学級介助員63人(R5:61人)、通常学級で支援を要する児童生徒への支援員8人(R5:8人)、学校看護師12人(R5:12人)、語学指導員20人(R5:15人)に加え、学習支援サポーターを8校に、学校看護師コーディネーターを学校教育室に配置し、個別に支援・配慮を必要とする児童生徒に向け、適切な支援を行った。</p>
情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	<p>④日本語指導加配教員連絡会(年4回)を実施し、日本語指導が必要な児童生徒や外国人児童生徒に関する情報共有及び指導方法や計画の練り上げを行うとともに、巡回校で研修を実施する等、校内支援体制の構築を進めることができた。また、在日外国人教育研修(年1回)を実施し、外国人児童生徒に対する具体的な支援策を考え、今後の進路指導の一助となるよう研修の充実に取り組んだ。</p>

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「人が困っているときは、進んで助けていますか」の肯定的回答割合(小6)(目標値:88.0%)	87.7 ( 99.7% )	87.0 ( 98.9% )	90.0 ( 102.3% )	S
全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「人が困っているときは、進んで助けていますか」の肯定的回答割合(中3)(目標値:85.0%)	82.1 ( 96.6% )	80.7 ( 94.9% )	85.0 ( 100.0% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

<p>①②支援教育担当の教職員及び介助員等の入れ替わりが増えており、新たな担当者を中心としてスキルアップを図る必要がある。今後も、支援教育担当者に加え、介助員等を対象とした研修等を通じて育成を図っていく。</p> <p>③④日本語指導が必要な児童生徒はますます増加し、日本語未習得の状態を渡日する児童生徒も増えている。語学指導員の派遣や翻訳機の導入に加え、留学生等の人材の活用を検討していく。</p>
--

##### ●評価委員からの主な意見

日本語指導を必要とする児童生徒に対して、翻訳機の活用等により、さらに学習の環境を整えられたい。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	10	事業名	我が町における子どもの育成	担当課 (機構改革前)	教育・こども部学校教育室教育指導担当
				担当課 (機構改革後)	教育・こども部学校教育室児童生徒支援担当

予算額	24	百万円	決算額	24	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
「豊かな心」の育成	規範意識と豊かな情操を培う	「いずみあいさつ運動」をはじめ、地域で子どもたちを温かく見守る人々との交流を促進する	①毎月11日の「いずみあいさつ運動」時に、校区のパトロールを実施、各校児童会や生徒会を中心に行う「あいさつ運動」の充実 ②全校で地域人材ボランティアを活用した、登下校時における児童生徒の見守り活動の実施 ③「ふるさと元気寄附金」の活用による、のぼり旗等の作成、見守り活動推進

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
家庭・地域と連携した健全な子どもの育成	自ら進んで家庭で学習する児童生徒を育む	家庭・地域と連携し、基本的な生活習慣や社会的マナーを身につける教育に取り組む	④学校支援地域本部事業での地域ボランティアによる、学校清掃や環境整備、部活動指導、学習活動支援
	地域とともに歩む学校づくりの推進	社会総がかりで子どもを育む環境を整える	⑤槇尾中学校区及び富秋中学校区、7中学校で学校運営協議会を発足。地域との協働による学校運営を推進 ⑥16小学校(池上、幸、横山、南横山以外)で学校運営協議会研究推進委員会を発足。学校運営協議会設置に向けた組織づくり、各種団体との連携の強化

#### ●令和5年度の課題と改善策

- ④地域教育協議会、学校支援地域本部の運営には、教職員が関わることも多く、学校教職員の働き方への配慮について検討が必要。教員が本来すべき業務とそうでない業務の明示や地域行事などへの参画のあり方についての方針を示すことなどにより改善を図る。
- ⑤⑥学校運営協議会の発足に向けて、地域の理解と人材の確保を図る必要があるため、制度の趣旨等について、情報発信や研修会を行う。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	10	事業名	我が町における子どもの育成	担当課 (機構改革前)	教育・こども部学校教育室教育指導担当
				担当課 (機構改革後)	教育・こども部学校教育室児童生徒支援担当

#### ●令和6年度の事業評価

「豊かな心」の育成	①毎月11日の「いずみあいさつ運動」にあわせ、青色パトロールカーで巡回し、その啓発や周知を図った。 ②全校で児童会生徒会、見守り隊等によるあいさつ運動を実施し、地域との交流や豊かな心の育成を図った。 ③あいさつ運動の啓発用のぼり旗を各学校へ5枚ずつ配付し運動の活性化を図った。
家庭・地域と連携した健全な子どもの育成	④地域教育協議会や学校支援地域本部による活動がコロナ禍以前と同等に実施され、子どもたちと地域のつながりを深めることができた。 ⑤7中学校、1義務教育学校、2中学校区にて学校運営協議会を設置し、地域とともに歩む学校体制の構築を図ることができた。 ⑥16小学校において学校運営協議会研究推進委員会を発足する等、スムーズな学校運営協議会への移行に向けた協議を実施することができた。

#### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の肯定的回答割合(小6)(目標値:75.0%) (R4質問項目「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」)	45.4 ( 60.5% )	67.8 ( 90.4% )	80.8 ( 107.7% )	S
全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の肯定的回答割合(中3)(目標値:75.0%) (R4質問項目「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」)	38.1 ( 50.8% )	55.9 ( 74.5% )	72.6 ( 96.8% )	A

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

#### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

④⑤⑥地域教育協議会、学校支援地域本部の運営には、教職員が関わることも多く、学校教職員の働き方への配慮について継続的な検討が必要。学校運営協議会等を活用し、保護者や地域との合意形成を図りながら地域と学校の役割の明確化、学校支援活動の充実を図ることで改善を図る。 ⑤⑥学校運営協議会での熟議を通し、学校運営や学校支援活動の充実、地域資源を活用した学校の諸課題の解決に繋げる必要がある。そのために、学校運営協議会へ教育委員会事務局による情報提供や活発な熟議に向けた助言等を継続的に行うことで改善を図る。
--

#### ●評価委員からの主な意見

教職員の働き方改革にも留意して、地域とともにある学校としての取組みを進められたい。
---

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	11	事業名	健康教育・体力向上	担当課 (機構改革前)	教育・こども部学校教育室教育指導担当
				担当課 (機構改革後)	教育・こども部学校教育室教育推進担当、 児童生徒支援担当

予算額	112	百万円	決算額	89	百万円
-----	-----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
たくましく生きるための「健康・体力」の増進	成長の基礎となる健康・体力を増進する	運動習慣の定着に向けた取組みを推進する	①始業前や休み時間などの短時間を活用した効果的な運動を実践するための備品・消耗品の購入 ②担当教員研修会を通じて、指導方法の工夫改善により、各校の運動習慣・体力づくりの取組みを推進 ③民間屋内プールを活用した水泳授業を本格実施(小学校10校→15校、中学校1校)し、学校プールの水泳授業にインストラクターを派遣
		心身両面の健全な発達を育む取組みを推進する	④各校において、和泉市薬剤師会等による「薬物乱用防止教室」を実施 ⑤がん教育の出前授業

#### ●令和5年度の課題と改善策

②「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から、小学5年男子が49.49から50.99、女子が51.92から52.16、中学2年男子が39.83から41.14と令和4年度と比べ令和5年度の体力合計点が高くなっているものの、令和3年度と比べると小学5年男子が51.13から50.99、女子が53.11から52.16、中学2年女子が47.15から45.47と体力合計点が低くなっていることがわかった。運動能力の育成、運動習慣の定着における重要な時期にコロナ禍の影響を受けたため、依然として児童生徒の体力の課題は深刻である。体力向上については、継続的な取組みが必要であり、運動意欲を伸ばしたり、運動機会を確保してだけでなく、研修や担当者会の中でさまざまな好事例を市全体で積極的に共有し、子どもたちの体力向上につなげていく。

③学校水泳民間屋内プール活用事業は、施設や利用校を拡充予定であり、学校間の日程調整が複雑になる。早めの日程調整を行うことにより調整をスムーズに行えるようにする。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	11	事業名	健康教育・体力向上	担当課 (機構改革前)	教育・こども部学校教育室教育指導担当
				担当課 (機構改革後)	教育・こども部学校教育室教育推進担当、 児童生徒支援担当

##### ●令和6年度の事業評価

たくましく生きるための「健康・体力」の増進	①短時間を活用した効果的な運動等に係る備品や消耗品を希望する8校に配付し、運動環境の充実を図った。 ②体力向上担当者会を実施し、体力づくり推進計画の活用推進を図った。また、大阪体育大学准教授小林博隆氏を講師に招き、「小学校体育実技講習会」を実施し、教員の指導力向上を図ることができた。 ③学校水泳民間屋内プール活用事業は、小学校15校に拡充し、民間屋内プールを活用していない小学校6校には、インストラクターを派遣した。夏季休業中の水泳記録会も民間屋内プールを活用して行った。 ④全校で薬剤師や警察官などの専門家を活用した薬物乱用防止教室を実施し、児童生徒の薬物乱用への注意喚起、危険性の理解を深めることができた。 ⑤医師や看護師などの専門家による、がん教育出前授業を1校で実施し、健康への意識の醸成と正しい知識理解の定着を図ることができた。
-----------------------	--

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
全国・体力、運動能力、運動習慣等調査において、対象学年(小5・中2)男女の体力合計点(対府比)(小5)(目標値:1.01)	男:0.96 ( 95.0% )	男:0.99 ( 98.0% )	男:0.99 ( 98.0% )	A
	女:0.98 ( 97.0% )	女:0.99 ( 98.0% )	女:1.01 ( 100.0% )	S
全国・体力、運動能力、運動習慣等調査において、対象学年(小5・中2)男女の体力合計点(対府比)(中2)(目標値:1.01)	男:1.01 ( 100.0% )	男:1.03 ( 102.0% )	男:1.01 ( 100.0% )	S
	女:1.01 ( 100.0% )	女:1.00 ( 99.0% )	女:1.02 ( 101.0% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

②「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から、小学5年男子が50.99から51.62、女子が52.16から53.15、中学2年女子が45.47から46.39と令和5年度と比べ令和6年度の体力合計点が高くなっている一方で、中学2年男子が41.14から40.64と令和5年度と比べ、令和6年度の体力合計点が低くなっている。一定回復傾向が見受けられるが、運動能力の育成、運動習慣の定着には未だ課題が残る。今後も、継続的な取組みが必要であり、運動機会を確保してだけでなく、研修や担当者会の中で様々な好事例を市全体で積極的に共有し、子どもたちの体力向上につなげていく。
---

##### ●評価委員からの主な意見

「全国・体力、運動能力、運動習慣等調査」結果が小学校女子、中学校男子・女子において府平均を上回る数値となっていることについて評価する。引き続き、子どもたちの体力向上についての取組みを進められたい。
--

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	12	事業名	食育及び学校給食	担当課	教育・子ども部学校園管理室保健給食担当
--------	----	-----	----------	-----	---------------------

予算額	880	百万円	決算額	799	百万円	※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載
-----	-----	-----	-----	-----	-----	--

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
たくましく生きるための「健康・体力」の増進	心身の健康を増進する	自校調理による安全で栄養バランスの良い学校給食を提供し、家庭・地域と連携した食育を推進するとともに、食への理解を深める	①榎尾学園調理業務委託の導入準備 ②調理員を対象とした衛生管理研修の実施 ③家庭における食育の啓発

#### ●令和5年度の課題と改善策

・自校調理による安心・安全でおいしい給食の提供の維持・継続のため、調理員に対し、衛生管理やアレルギー事故防止のための研修を実施するとともに、給食調理委託新規校については、円滑に業務を開始することができるよう、学校や委託事業者と協議・調整を図る。

・目標の達成に向け、栄養価や多種多様な食材の使用を考慮しながら、喫食率の上昇につなげることができる献立の作成と併せ、給食指導に取り組む。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	12	事業名	食育及び学校給食	担当課	教育・こども部学校園管理室保健給食担当
--------	----	-----	----------	-----	---------------------

##### ●令和6年度の事業評価

たくましく生きるための「健康・体力」の増進	①榎尾学園給食調理業務委託の委託事業者を選定したうえで、円滑な委託導入に向け、学校や委託事業者と協議・調整を図った。 ②調理員(委託事業者を含む)を対象に、保健所による令和6年度衛生管理巡回指導結果に基づいた衛生管理講習会を開催した。また、給食食器メーカーによる食器の管理・洗浄方法の研修会を開催し、適切な食器管理について知識醸成を行った。 ③バランスの良い食生活について市民に情報提供を行うため、学校の「給食だより」や「ホームページ」で献立メニューを紹介したほか、「広報いずみ」で献立レシピを紹介した。
-----------------------	--

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
学校給食がおいしいと感じている児童の割合(目標値:95.0%以上)	94.3 ( 99.3% )	95.0 ( 100.0% )	96.0 ( 101.1% )	S
学校給食がおいしいと感じている生徒の割合(目標値:92.0%以上)	91.1 ( 99.0% )	90.1 ( 97.9% )	94.1 ( 102.3% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①②自校調理による安心・安全でおいしい給食の提供の維持・継続のため、調理員に対し、衛生管理やアレルギー事故防止のための研修を引き続き実施するとともに、給食調理委託新規校については、円滑に業務を開始することができるよう、学校や委託事業者と協議・調整を図る。  ※予算額と決算額の差異(81百万円)の主な要因は、物価高騰に対する国の光熱費への補助制度により、光熱費の支出が抑制されたほか、給食室の空調設置に伴い給食室が利用できない期間の給食に代わる弁当の提供について、工事期間の短縮に向け調整を図った結果、弁当の提供日数について、当初22日予定していたところを概ね16日に短縮したことにより、不用額が発生したもの。
---

##### ●評価委員からの主な意見

給食費について、食材が高騰している状況を踏まえ、引き続き給食の質を維持する対応について検討されたい
---

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	13	事業名	学校保健の充実	担当課	教育・子ども部学校園管理室保健給食担当
--------	----	-----	---------	-----	---------------------

予算額	96	百万円	決算額	84	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
たくましく生きるための「健康・体力」の増進	心身の健康を増進する	各種健康診断や学校内事故に対する対応体制の確保など授業を受けるための環境支援に取り組む	①健診の有所見者の受診率向上を図るため、受診勧奨を実施 ②教職員の食物アレルギー対応に係る知識の習得のための研修会の開催

#### ●令和5年度の課題と改善策

①健診の有所見者の受診率向上に向け、正確に未受診者を把握のうえ、効果的な受診勧奨を行う。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	13	事業名	学校保健の充実	担当課	教育・こども部学校園管理室保健給食担当
--------	----	-----	---------	-----	---------------------

##### ●令和6年度の事業評価

たくましく生きるための「健康・体力」の増進	①保健だより等を活用して、健診の有所見者への受診勧奨を行った。 ②教職員向けの食物アレルギー研修会を開催し、アレルギー原因やリスク管理に関する知識の醸成を行った。
-----------------------	--

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
内科健診有所見者受診率(目標値:50.0%以上)	40.1 ( 80.2% )	52.1 ( 104.2% )	43.6 ( 87.2% )	B
歯科健診有所見者受診率(目標値:50.0%以上)	48.7 ( 97.4% )	55.7 ( 111.4% )	57.4 ( 114.8% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が500万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①健診の有所見者の受診率向上に向けた学校ごとの取組みを養護教諭部会で情報共有し、効果的な受診勧奨方法を検討する。
--

##### ●評価委員からの主な意見

内科健診有所見者受診率の向上に向け、受診勧奨にかかる重点的な取組みと丁寧な経過観察を継続されたい。
---

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	14	事業名	教材の充実・管理経費の適正化	担当課	教育・子ども部学校園管理室教育施設担当
--------	----	-----	----------------	-----	---------------------

予算額	917	百万円	決算額	659	百万円	※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載
-----	-----	-----	-----	-----	-----	--

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
教育環境の充実	学びの意欲を向上させる学習環境の提供	児童生徒が授業を受けやすい学習環境・教職員が授業を行いやすい環境づくりに取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校図書の蔵書率向上に向けた書架の購入</li> <li>②小学校の段階的な35人学級制度への移行に対応するため、計画的な物品調達を実施</li> <li>③令和6年度、7年度に小学校体育館、特別教室、給食調理室へ空調設備を設置することを踏まえ、更なる光熱水費の適正利用を推進</li> </ul>

#### ●令和5年度の課題と改善策

①学校図書館の蔵書率を向上させるため、図書室への新たな書架の整備を継続する。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	14	事業名	教材の充実・管理経費の適正化	担当課	教育・こども部学校園管理室教育施設担当
--------	----	-----	----------------	-----	---------------------

##### ●令和6年度の事業評価

教育環境の充実	<p>①蔵書率向上を図るため、小学校2校及び中学校2校に書架を配置した。</p> <p>②35人学級制度への移行に伴うクラス数増加に対応すべく、南池田小学校、北池田中学校、南松尾はつが野学園に必要物品を調達した。</p> <p>③物価高騰及び空調設備の増設に伴い増加する光熱費の抑制を図るよう、空調設備の適正利用を校長会を通じ促した。</p>
---------	---

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
学校図書館図書標準の達成校数(目標値:30校全校達成)	24 ( 80.0% )	26 ( 86.7% )	27 ( 90.0% )	A

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

<p>③継続している物価高騰を踏まえ、更なる適正利用を推進するため学校へ周知を行っていく必要がある。</p> <p>※予算額と決算額の差異(229百万円)の主な要因は、物価高騰に対する国の光熱費への補助制度により、光熱費の支出が抑制されたため。</p>
--

##### ●評価委員からの主な意見

<p>小学校体育館等の空調整備に取り組む中、光熱費の抑制等が図られるよう、引き続き空調設備の適正利用に取り組まれない。</p>
---

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	15	事業名	小中学校の施設維持管理	担当課	教育・こども部教育総務課、学校園管理室教育施設担当
--------	----	-----	-------------	-----	---------------------------

予算額	4,918	百万円	決算額	4,467	百万円
-----	-------	-----	-----	-------	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
教育環境の充実	安全・安心で快適な学校環境の提供	学校生活が快適に過ごせるような環境整備や少子化傾向・施設の老朽化を勘案したファシリティマネジメントに取り組む	①(仮称)槇尾学園の新校舎等整備工事の完了 ②(仮称)富秋学園基本設計・実施設計の策定 ③ 和泉市教育施設等長寿命化計画に基づき、いぶき野小学校の外壁改修等工事の実施

#### ●令和5年度の課題と改善策

(仮称)槇尾学園において、令和6年度2学期から槇尾中学校在校生による新校舎の利用が始まるため、学校運営に支障が生じないよう、学校や事業者等と十分な調整を図る。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	15	事業名	小中学校の施設維持管理	担当課	教育・こども部教育総務課、学校園管理室教育施設担当
--------	----	-----	-------------	-----	---------------------------

##### ●令和6年度の事業評価

教育環境の充実	<p>①(仮称)榎尾学園では、在校生が2学期から新校舎の利用を開始し、年度内にグラウンド整備も含めた全ての整備工事が完了した。</p> <p>②(仮称)富秋学園では、令和9年度開校に向け、基本設計及び実施設計を策定した。</p> <p>③和泉市教育施設等長寿命化計画に基づき、いぶき野小学校の大規模改修工事を竣工した。</p>
---------	---

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
校舎大規模改修の実施棟数(目標値:1棟)	—	1 ( 100.0% )	1 ( 100.0% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

<p>②(仮称)富秋学園において、特別教室棟の解体工事後、新校舎を建築することから、学校運営に支障が生じないよう学校や事業者等と十分な調整が必要となる。 ※予算額と決算額の差異(413百万円)の主な要因は、小学校体育館等への空調整備や校舎大規模改修等の各種工事における入札差金によるもの。</p>
--

##### ●評価委員からの主な意見

<p>(仮称)富秋学園について、児童生徒をはじめ教職員や地域の方など、すべての人に望まれる施設となるよう更なる工夫を凝らしていただきたい。</p>
---

IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	16	事業名	生涯学習環境づくり	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	-----------	-----	--------------------

予算額	492	百万円	決算額	482	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
生涯を通じた「学習活動」の促進	一人ひとりが、生涯にわたり生きがいをもって豊かな人生を歩む	必要なときに必要な学びを提供できる環境整備に努める	①青少年の家の活性化を図るための施設改修にかかる基本設計及び実施設計を策定 ②生涯学習センター補助金により、施設の利用促進等を目的に、NHKラジオ番組の公開収録を実施 ③日本語学習機会の場として、日本語サロン、和泉読み書き教室、いずみ識字学級を設置
	学習の成果を生かして活躍することができる場の提供と、地域に貢献する人材の育成、さまざまな交流やコミュニティの創出	学習の成果をいかして活動できる場の提供に取り組む	④いずみ市民大学において、市民ニーズに応じた講座提供を行うことにより、多様な人材を確保し、市民相互のネットワークを拡大 ⑤いずみ市民大学まちづくり学部観光おもてなし学科において、まちおもい帖の制作と展覧会を実施

●令和5年度の課題と改善策

<p>①南部地域の拠点施設となるよう青少年の家の活性化を図るため、令和8年度中のリニューアルオープンをめざす。令和6年度に基本設計・実施設計を完了し、高騰している改修工事費の市の負担軽減のため、国の交付金の獲得や料金体系の見直し、利用人数制限の見直しなどに取り組む。</p> <p>④⑤いずみ市民大学において、令和5年度は資格取得支援講座の取入れなど新たな内容に取り組んだが、申込者数が伸びなかったため、再度、内容の見直しが必要である。</p>
--

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	16	事業名	生涯学習環境づくり	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	-----------	-----	--------------------

##### ●令和6年度の事業評価

生涯を通じた「学習活動」の促進	<p>①青少年の家の施設改修にかかる基本設計及び実施設計を策定した。令和6年度末で現指定管理者である公益財団法人大阪YMCAが指定管理期間満了を迎えたことから、令和7年度の1年間を指定管理期間として、同法人を指定管理者に再指定した。</p> <p>②生涯学習センター補助金により、施設の利用促進等を目的として、NHKラジオ番組「リサイタル・パッショ」の公開収録を実施した。(参加者数:490人)</p> <p>③日本語学習機会の場として設置している日本語サロン(フューラル和泉、和泉シティプラザ)65人、和泉読み書き教室(和泉市コミュニティセンター)8人、いずみ識字学級(和泉市立北部総合福祉会館、旭第二団地集会所、和泉市立人権文化センター)16人の受講があった。</p> <p>④⑤いずみ市民大学について、まちづくり本科、まちづくりスキルアップ学科、観光おもてなし学科の3コースを設定し、24人の受講があった。まちづくり本科では、イラストレーターの小宮さえ子氏が受講生と一緒に、自分にとって大切な町や想いのある町をテーマにした写真やイラストを交えた冊子である「マチオモイ帖」を制作し、卒業式と同時にマチオモイ帖の展覧会を開催した。(入場者数:70人)</p> <p>教養学部では、ピアノ名曲探訪(講師の生演奏及びトーク)に関する講座の人気が高く、前期と後期合わせて12講座開催し、727人の受講があった。(R5:12講座・592人受講)</p>
-----------------	---

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
いずみ市民大学受講者数(目標値:700人)	746 ( 106.6% )	566 ( 80.9% )	751 ( 107.3% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

<p>①令和9年4月のリニューアルオープンをめざし、改修工事、新指定管理者の選定、施設の利用規定や運営方法の見直しなどに取り組む。</p> <p>③④魅力的な講座内容を検討し、前年度を上回る受講者の確保に努める。また、令和7年度で開講10周年を迎えることから、歴代の卒業生による発表会を開催する。</p>
--

##### ●評価委員からの主な意見

<p>様々な団体で高齢化や担い手不足が問題になっている現状を受け、各種講習講座においても次の世代に繋ぐような人材の育成に努められたい。</p>
---

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	17	事業名	社会教育環境づくり	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	-----------	-----	--------------------

予算額	4	百万円	決算額	3	百万円
-----	---	-----	-----	---	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
生涯を通じた「学習活動」の促進	学習の成果を生かして活躍することができる場の提供と、地域に貢献する人材の育成、さまざまな交流やコミュニティの創出	多様化する時代に即した地域社会、コミュニティの形成がなされる環境づくりに取り組む	①社会教育委員会議の開催 ②PTA協議会活動の支援 ③はたちのつどいの運営支援(はたちのつどい企画委員との連携)

#### ●令和5年度の課題と改善策

③はたちのつどいについて、式典内容の固定化や会場敷地内での飲酒等の課題があり、それらの見直しに取り組む必要がある。
---

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	17	事業名	社会教育環境づくり	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	-----------	-----	--------------------

##### ●令和6年度の事業評価

生涯を通じた「学習活動」の促進	<p>①令和6年9月、令和7年3月に社会教育委員会議を開催し、市の社会教育施策に関する意見聴取を行い、SNS等での効果的な情報発信に関する助言をいただいた。</p> <p>②PTA協議会の自主的な活動を促すため補助金を交付し、研究大会の開催を通じた各学校PTAの横の連携強化や家庭教育への学びを深める機会の創出を支援した。</p> <p>③令和7年1月13日に、はたちのつどいを4部制で開催し、1,488人(参加率:74.7%)が参加した。(R5:1,582人、参加率77.0%)また、会場内での飲酒を控えるよう、企画委員による周知徹底に努めた。</p>
-----------------	---

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
はたちのつどい参加率(目標値:75%)	74.2 ( 98.9% )	77.0 ( 102.7% )	74.7 ( 99.6% )	A

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

③はたちのつどいについて、会場敷地内での飲酒等の課題があるため、引き続き、実行委員会による飲酒禁止の呼びかけや飲酒禁止の周知に取り組む。また、参加者数の減少に伴い、効率的かつ適正な規模での運営を行うため、4部制から3部制開催への見直しを行う。

##### ●評価委員からの主な意見

学校教育とも関連するが、PTAについては社会の変化により活動の形態に変化が見られる地域もある。市内PTAの活動状況、動向についてしっかりと把握のうえ、適切に取り組まれない。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	18	事業名	スポーツ施設の運営	担当課	生涯学習部生涯学習推進室スポーツ振興担当
--------	----	-----	-----------	-----	----------------------

予算額	256	百万円	決算額	234	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
スポーツ交流による「人・地域」の親交の醸成	誰もが身近な場所でスポーツに親しみ、生きがいや健康を育む	スポーツを行う環境を整える	①(仮称)北部総合スポーツセンター基本構想策定委託 ②スポーツ施設の営繕、改修等の実施(コミュニティ体育館屋上防水工事、温水プール受水槽他改修工事、光明池球技場改修工事) ③指定管理者と協議し、キャンペーン等の実施により稼働率向上に向けた取組みを実施

#### ●令和5年度の課題と改善策

- ②社会体育施設の老朽化に対して、市民が気持ちよく運動できるようスポーツ施設の営繕、改修を計画的に実施する。温水プール故障時の一時閉館により利用者数が減少しているため、今後、計画的に修繕するなど安定的な運用を行うとともに、令和6年度からの指定管理者と新たな魅力作りについて協議を行い、利用者数の増加を図る。
- ③指定管理者の変更に伴い、稼働率向上につながる新たな魅力作りについて指定管理者と協議検討する。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	18	事業名	スポーツ施設の運営	担当課	生涯学習部生涯学習推進室スポーツ振興担当
--------	----	-----	-----------	-----	----------------------

##### ●令和6年度の事業評価

スポーツ交流による「人・地域」の親交の醸成	<p>①令和6～7年度において、(仮称)北部総合スポーツセンター基本構想策定に向け、各種団体のヒアリングおよび関係団体との協議を実施。令和7年12月頃に策定予定。</p> <p>②スポーツ施設の営繕、改修等の実施(コミュニティ体育館屋上防水工事、温水プール受水槽他改修工事、光明池球技場改修工事)を実施し、利用者の利便性向上につながった。</p> <p>③指定管理者変更に伴い、温水プールではスイミングスクールの対象を拡充し、年中(4歳児)から参加可能としたほか、ランニングマシンの増加(1台)などを実施している。また、適正な施設管理により、故障による休館期間がなかった。体育施設においては、テニスラケット・ボールのレンタル開始や、スポットクーラーの増設、ピククルボールなどの新たな種目のイベントを開催し、利用者数の増加を図った。</p>
-----------------------	---

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
社会体育施設の利用者数 (目標値:前年度比1万人増 R4:347,550人 R5:472,921人 R6:468,123人)	462,921 ( 133.2% )	458,123 ( 96.9% )	489,852 ( 104.6% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

<p>①(仮称)北部総合スポーツセンター基本構想策定において、多くの市民利用につながる施設整備を検討する。</p> <p>③稼働率向上につながる新たな魅力作りについて指定管理者と協議検討する。</p>
--

##### ●評価委員からの主な意見

社会体育施設の維持管理について、安心・安全な施設を維持するよう入念な点検等の実施に努められたい。
--

IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	19	事業名	スポーツ活動の普及	担当課	生涯学習部生涯学習推進室スポーツ振興担当
--------	----	-----	-----------	-----	----------------------

予算額	41	百万円	決算額	40	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
スポーツ交流による「人・地域」の親交の醸成	スポーツを通じて地域の仲間たちと親交を深める	スポーツ活動の仕組みづくりに取り組む	①各種イベントにおける参加者数増加に向けた取組みの検討 ②誰もが気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりについて、用具の購入に加え、ふれあいニューススポーツ教室の充実を図る ③部活動地域移行計画策定委員会の設置

●令和5年度の課題と改善策

①②スポーツイベントの参加者数増加を目的とし、信太山クロスカントリー大会のふるさと納税による出場権付与を継続的に実施し、認知度の向上を図る。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	19	事業名	スポーツ活動の普及	担当課	生涯学習部生涯学習推進室スポーツ振興担当
--------	----	-----	-----------	-----	----------------------

##### ●令和6年度の事業評価

スポーツ交流による「人・地域」の親交の醸成	①信太山クロスカントリー大会では、出場権をふるさと納税の商品として周知し、17人が出走した。他大会ではSNSを活用し、参加者数増加に向けた取組みを実施。 ②フライングディスクを購入し、ニュースポーツ用具の充実を図ったほか、運営に携わるスポーツ推進委員及び市職員が研修に参加し資質向上に務めた。ニュースポーツ教室の参加者数は、(R5:102人【7回実施】、R6:114人【6回実施】)となり、合計参加者数及び1回当たりの参加者数が増加した。 ③部活動地域移行計画策定委員会を開催し、和泉市部活動地域移行推進計画素案について意見交換を行った。
-----------------------	---

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
スポーツ事業参加者数対前年度比(目標値:1以上)	13.4 総数:1,882 ( 1340.0% )	1.49 総数:2,796 ( 149.0% )	1.03 総数:2,893 ( 103.0% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①信太山クロスカントリー大会の参加者増加が課題であり、ふるさと納税による出場権付与の周知および大会の魅力向上を図る。 ②1回当たりの参加者数は増加しているが、平均参加者数は19人/回と定員(50人)に達していないため、周知方法や内容を充実していく。 ③部活動指導員の充実や質の担保、合同部活動や拠点校部活動の実施、大学との連携など、部活動が実施しやすい環境の確保に向け、部活動地域移行計画策定委員会の中で議論していく。
---

##### ●評価委員からの主な意見

部活動地域移行は、人材や予算に関する課題もあり、拙速に進めるのではなく他団体の状況を注視しながら慎重に進められたい。
--

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	20	事業名	文化芸術活動	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	--------	-----	--------------------

予算額	43	百万円	決算額	42	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
豊かな創造性と郷土愛を育む「文化・芸術」の振興	市民生活を心豊かで、潤いあるものとする	市民の創造性豊かな文化・芸術活動を支援する	<p>①市民文化祭において、幅広い分野の受け入れを行う。また、文化協会の協力を得て、市民が身近に文化を感じられるよう、体験教室を開催。市民文化祭の一般参加(文化協会非会員)について、より幅広い層に参加していただくための募集方法を検討</p> <p>②太鼓教室や太鼓体験教室の開催や活動支援によるいずみ太鼓の振興</p> <p>③文化芸術の振興発展・文化芸術活動の活性化を目的として文化協会と連携し、各種イベント開催時や学校・園等で様々な文化を体験できる機会を提供</p>

#### ●令和5年度の課題と改善策

③引き続き、文化芸術の振興発展のため文化協会と連携し、今後も様々な機会を通じて市民が文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、文化協会と学校・幼稚園・保育所等との連携により、次代を担う子どもたちに対して様々な文化体験の機会を提供する必要がある。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	20	事業名	文化芸術活動	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	--------	-----	--------------------

##### ●令和6年度の事業評価

豊かな創造性と郷土愛を育む「文化・芸術」の振興	<p>①令和6年10月6日～12月8日に市民文化祭を開催し、展示部門第1期～第2期は9,993人、演技部門は3,758人が来場され、身近な場所で文化・芸術に触れていただくことができた。また、今年度は、11月3日の式典と同日で市民ステージ(一般参加者のステージ)を開催したほか、展示部門については、文化協会と一般参加の方の作品展示を同時に行い、多くの方に来場いただくことができた。</p> <p>②太鼓教室や太鼓体験教室を開催し、日頃の練習の成果を披露する場として、令和6年12月7日・8日に2部制で「いずみの国太鼓クリエイション2024」を開催し、計1,188人が来場された。</p> <p>③令和6年11月17日の「槇尾っ子まつり」では、ちぎり絵部門、書道部門、金管バンド部門による各体験イベントや中学校の楽器のメンテナンスを行うなど、多くの市民に文化・芸術に触れる機会を提供することができた。</p>
-------------------------	--

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
市民文化祭に参加している市民の延べ人数(目標値:10,500人)	9,924 ( 94.5% )	12,375 ( 117.9% )	13,751 ( 131.0% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

<p>③引き続き、文化芸術の振興発展のため文化協会と連携し、今後もさまざまな機会を通じて市民が文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、文化協会と学校・幼稚園・保育所等との連携により、次代を担う子どもたちに対してさまざまな文化体験の機会を提供する必要がある。</p>
---

##### ●評価委員からの主な意見

<p>文化芸術活動の場において、子どもたちが活躍できる機会をできるだけ多く提供されたい。</p>
--

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	21	事業名	文化財の調査研究・保護継承および文化財の活用	担当課	生涯学習部文化遺産活用課
--------	----	-----	------------------------	-----	--------------

予算額	386	百万円	決算額	373	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	地域の歴史資源や文化資源の保全に努めるとともに、これら資源に触れ合う機会を創出し、市民の誇りと郷土愛を育む	文化財の調査研究・保護継承に取り組む	①郷土史読本の増刷 ②史跡池上曾根遺跡整備工事 ③文書館機能の設置準備として歴史公文書の評価選別、関連規則の整備、まなびのプラザ改修
		史跡公園や歴史館など歴史学習の場の提供・活用に取り組む	④池上曾根史跡公園のリニューアルオープンに向けた活用手法の検討 ⑤歴史講座(寺子屋いずみ)やウォークイベントなどを開催 ⑥文化財活性化につながる文化遺産フォーラムを開催

#### ●令和5年度の課題と改善策

- ①郷土史読本の増刷とさらなる活用を進める。
- ②令和8年度の一部供用開始に向け、史跡池上曾根遺跡整備工事を推進する。
- ③「文書館」機能開設にむけた準備(歴史公文書の評価選別と関連規則の整備、まなびのプラザの改修等)を行う。
- ④池上曾根史跡公園について、引き続き、先進事例の視察やサウンディングを実施し、活用手法を検討する。
- ⑤ヒストリータウン事業として、史跡池上曾根遺跡発掘調査成果等に係る文化遺産フォーラムを実施する。
- ⑥ウォークイベントや歴史講座などタイムリーな企画を実施する。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	21	事業名	文化財の調査研究・保護継承および文化財の活用	担当課	生涯学習部文化遺産活用課
--------	----	-----	------------------------	-----	--------------

##### ●令和6年度の事業評価

豊かな創造性と郷土愛を育む「文化・芸術」の振興	<p>①7,500部増刷し、市内小学校に6,500部を配布し活用を推進した。</p> <p>②令和5年度から整備工事を実施しており、令和6年度は多目的広場の造成工事等を実施した。</p> <p>③歴史公文書の評価選別基準を制定し、令和6年度に移管対象となる公文書の評価選別を行った。また、まなびのプラザの改修を行うなど、いずみの国歴史館での「文書館」機能開設に向けた準備を進めた。</p> <p>④先進事例として高槻市安満遺跡公園を視察した。</p> <p>⑤池上曽根史跡公園及び信太の森ふるさと館において、講座「寺子屋いずみ」を開催した。</p> <p>⑥いずみの国歴史館で開催された令和6年度秋季特別展「いずみのほとけ」の関連企画として、第5回和泉市文化遺産フォーラム「いずみのほとけ」を開催した。</p>
-------------------------	---

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
第5次和泉市総合計画の目標管理の市民アンケート調査における「和泉市の歴史文化に誇りを持っている」と答えた市民の割合(目標値:55.0%)	51.1 ( 92.9% )	51.3 ( 93.3% )	54.7 ( 99.5% )	A
文化遺産施設の入園者・入館者数(歴史館、池上曽根史跡公園、ふるさと館)(目標値:115,000人)	130,488 ( 113.5% )	72,788 ( 63.3% )	68,631 ( 59.7% )	D
文化財関係イベント(和泉史塾、寺子屋池上曽根など)の参加者数(目標値:500人)	526 ( 105.2% )	580 ( 116.0% )	618 ( 123.6% )	A
和泉市文化財TVおよびHPのPV数の増加(目標値:60,000回)	84,858 ( 141.4% )	54,817 ( 91.4% )	50,162 ( 83.6% )	B

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

<p>①郷土史読本を活用し、市民にPRすることで、「和泉市の歴史文化財に誇りを持っている」と答えた市民の割合の数値向上に取り組む。</p> <p>②令和8年度の一部供用開始に向け、史跡池上曽根遺跡整備工事を推進する。</p> <p>③「文書館」機能開設にむけた準備(特定歴史公文書の公開目録の作成、公開手続きに係る規則の制定、利用制球に対する処分に係る審査基準の制定等)を進める。</p> <p>④池上曽根史跡公園について、引き続き先進事例の視察やサウンディングを実施する。</p> <p>⑤ヒストリータウン事業としてウォークイベントや歴史講座を実施する。</p> <p>⑥文化遺産施設の入館者・入園者数について、増加を目指した取組みの検討を行う。</p>
--

##### ●評価委員からの主な意見

<p>・歴史公文書等の管理については、専門的な知識を必要とする職であることから、しっかりとした職員体制を確保されたい。</p> <p>・先進事例として挙げている高槻市安満遺跡公園の取組みについては、本市の取組みにおいても十分参考にされたい。</p>
--

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	22	事業名	美術館の運営	担当課	生涯学習部久保惣記念美術館
--------	----	-----	--------	-----	---------------

予算額	229	百万円	決算額	216	百万円	※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載
-----	-----	-----	-----	-----	-----	--

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	地域の歴史資源や文化資源の保全に努めるとともに、これら資源に触れ合う機会を創出し、市民の誇りと郷土愛を育む	久保惣記念美術館の施設や所蔵品を活かし美術に触れ合う機会・活動の場の創出に取り組む	①特別展をはじめ、5回の展覧会を開催、音楽ホールでのコンサートや講演会 ②茶室の耐震補強工事(3年契約の3年目) ③美術館運営ビジョン策定

#### ●令和5年度の課題と改善策

①新型コロナウイルス感染症の5類移行後、入館手続きやコンサートにおける人数制限等を緩和し、入館者数は回復基調にあるものの、改めて入館者数の増加につなげる事業が必要。2025大阪・関西万博によるインバウンドを含んだ大阪への来訪者を呼び込む事業に取り組む。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	22	事業名	美術館の運営	担当課	生涯学習部久保惣記念美術館
--------	----	-----	--------	-----	---------------

##### ●令和6年度の事業評価

豊かな創造性と郷土愛を育む「文化・芸術」の振興	③美術館に、まちづくりや文化観光などの新たな役割が求められている中、今後10年の美術館の運営方針を策定するために附属機関である「和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン策定委員会」を立ち上げ、5回の委員会を開催し、美術館運営ビジョンを策定した。本ビジョンを基に今後目指すべき姿を明確に示すことができた。
-------------------------	--

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
展覧会(特別陳列・常設展・特別展 各1回)の入館者数(目標値:(R4)14,000人、(R5)22,000人、(R6)36,000人)	12,533 ( 89.5% )	14,695 ( 66.8% )	20,744 ( 57.6% )	D
ミュージアムタウン交流拠点への来場者数(目標値:(R4)1,790人、(R5)3,080人) ※交流拠点施設を活用したまちの賑わい創出・交流人口拡大事業(地方創生推進交付金事業)が令和5年度で終了し、令和6年度からは民間企業が企画運営を担っているため、令和7年度事業分から本達成目標を削除する。	2,545 ( 142.2% )	3,234 ( 105.0% )	【参考】 2,413 ( 78.3% )	-

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

<p>①特別展及び中国書画展の入館者数が目標値の3~4割であった。事前のPR不足が大きな要因であり、今後は事前の情報発信や各所でのPRを行っていく。</p> <p>③美術館運営ビジョンに基づき、美術館の長寿命化に併せて寄贈敷地の有効活用と収蔵品を活かした展覧会の開催に対応するリニューアル計画を進めるべく、令和7年度においては、和泉市久保惣記念美術館リニューアル基本構想およびリニューアル基本計画の策定に取り組み、来館者の増加を図る。</p>
---

##### ●評価委員からの主な意見

入館者数が目標値を下回る結果となったことについては、継続して入館者数の推移を把握し、改善策との関係性を適宜確認のうえ必要な対策を行われたい。
--

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	23	事業名	青少年の健全育成	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	----------	-----	--------------------

予算額	6	百万円	決算額	4	百万円
-----	---	-----	-----	---	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
将来を担う青少年の育成	健やかな青少年の育成	社会環境が及ぼす青少年への影響配慮や地域による見守りなどに取り組む	①こども会育成連絡協議会の活動支援 ②非行防止などの啓発、意識高揚をめざした「青少年を非行から守る」市民大会を開催するとともに、周知方法を見直し、より効率的で効果的な広報活動を実施 ③こども110番事業の実施

#### ●令和5年度の課題と改善策

青少年の健全育成の機運を高めるため、「青少年を非行から守る」市民大会を開催しているが、参加人数などの現状を踏まえ、青少年の非行や犯罪被害防止にかかる周知啓発の手法について、調査研究が必要である。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	23	事業名	青少年の健全育成	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	----------	-----	--------------------

##### ●令和6年度の事業評価

将来を担う青少年の育成	<p>①こども会の自主的な活動を促すため補助金を交付し、ドッジビー、オセロ大会、スポーツ大会の開催による地域に根ざした子どもの健全育成を支援することができた。</p> <p>②例年開催している「青少年を非行から守る」市民大会について、参加者が固定化している状況を踏まえ、大会を中止し、少年の非行・被害防止に係る啓発チラシを作成し、町会・自治会での回覧・掲示、市内公共施設での配架、いずみメールでの配信等を実施し、啓発活動を行った。</p> <p>③地域の子どもは地域で守り、子どもが安心して暮らせる環境を確保することを目的として、「こども110番」の旗を掲げていただく協力世帯を募るため、広報いずみやホームページで新規協力世帯を募集し、損傷の激しい旗を随時入れ替えた。令和6年度は144件の新規協力世帯の登録があり、古くなった404本の旗を入れ替えることができた。</p>
-------------	--

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
青少年を非行から守る市民大会参加者数(目標値:120人) ※令和6年度から市民大会を実施しないこととなったため、令和7年度事業分からは本達成目標を削除のうえ、下記の達成目標を新たに追加する。	100 ( 83.3% )	105 ( 87.5% )	令和6年度からは大会実施せず ( 0.0% )	-
【参考】 こども110番事業における子ども1人あたりの協力家庭件数(目標値:0.22世帯)	-	-	0.22 ( 100.0% )	-

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

②スマートフォンやSNSの利用を通じて犯罪に巻き込まれるケースや薬物乱用などが社会問題化する中、引き続き、少年の非行・被害防止に係る啓発活動に取り組んでいく。
---

##### ●評価委員からの主な意見

少年の非行・被害防止に係る啓発について、町会・自治会での回覧による周知だけでなく、保護者に直接伝える方法を検討されたい。
--

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	24	事業名	放課後等の児童の健全育成	担当課	教育・こども部こども未来室幼保育成担当
--------	----	-----	--------------	-----	---------------------

予算額	582	百万円	決算額	566	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
将来を担う青少年の育成	健やかな青少年の育成	安全・安心して過ごせる児童の放課後活動の場の提供や次世代育成の観点による放課後活動対策に取り組む	①留守家庭児童会において必要な教室数及び支援員確保 ②留守家庭児童会事業の一部(槇尾学園)の運営を令和7年度から民間委託するため事業者選定等を実施 ③放課後子ども教室の全ての小学校区での実施を継続、実行委員会形式で実施できる校区の増加

#### ●令和5年度の課題と改善策

- ①入会児童数の増加が続く留守家庭児童会において、適正数のクラス設置のため、空き教室の確保又は施設整備が必要である。
- ②支援員の人員確保と人材の資質向上等の課題に対応するため、民間委託等の手法を検討する必要がある。
- ③放課後子ども教室を開催できるよう、地域の実行委員会に対し、実施マニュアルや取組事例、民間企業プログラムの情報提供・共有を行い、学校とも連携しながら取り組む必要がある。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	24	事業名	放課後等の児童の健全育成	担当課	教育・こども部こども未来室幼保育成担当
--------	----	-----	--------------	-----	---------------------

##### ●令和6年度の事業評価

将来を担う青少年の育成	<p>①留守家庭児童会について、学校児童推計を基に算出した留守家庭児童会入会児童数推計に基づき適切なクラス数の設定ができたことにより、待機児童が発生することなく運営することができた。</p> <p>②令和7年度から榎尾学園留守家庭児童会の運営を民間委託するため、事業者の決定や引継保育の実施、教室の設営などを行い開設の準備を整えた。</p> <p>③放課後子ども教室において、実行委員会で実施する校区が1校区増加した。また、放課後子ども教室の周知を図るため、実行委員会の無い校区でも市主体で活動することができた。</p>
-------------	--

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
留守家庭児童会の待機児童数(目標値:0人)	0 ( 100.0% )	0 ( 100.0% )	0 ( 100.0% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①②留守家庭児童会の安定運営のために民間委託の拡充等を検討していく。
------------------------------------

##### ●評価委員からの主な意見

留守家庭児童会の民間委託にあたり、児童虐待にかかる早期発見、関係機関との連携についてしっかりと対応できるよう、体制強化に努められたい。
---

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	25	事業名	青少年センター活動	担当課	生涯学習部生涯学習推進室青少年センター
--------	----	-----	-----------	-----	---------------------

予算額	36	百万円	決算額	34	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
将来を担う青少年の育成	健やかな青少年の育成	子ども同士の交流ができる活動の場の提供に取り組む	①ユースゼネレーション(小中学生対象の講習講座や野外活動)の開催 ②どろんこ子ども会を平日放課後、学校長期休業中開設(土日祝等除く) ③(仮称)多世代交流拠点施設における青少年健全育成機能の検討

#### ●令和5年度の課題と改善策

- ①各講習講座については、引き続きアンケート調査を実施し、利用者ニーズの把握に努めるとともに、青少年の健全育成や子どもの居場所づくり等を踏まえた個別事業の見直しに取り組んでいく必要がある。
- ③(仮称)多世代交流拠点施設基本計画等に基づき、当該拠点施設における青少年健全育成機能について、関係課とともに検討を進めていく。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	25	事業名	青少年センター活動	担当課	生涯学習部生涯学習推進室青少年センター
--------	----	-----	-----------	-----	---------------------

##### ●令和6年度の事業評価

将来を担う青少年の育成	<p>①ユースゼネレーションは、定員を上回る応募があり(延べ参加者数890人)、利用者ニーズに配慮した講習講座を実施することで、青少年の体験や交流の場を提供することができた。</p> <p>②どろんこ子ども会(延べ参加者数8,162人)では、学校の放課後や長期休みにおける安全、安心な居場所を提供することで、集団活動や遊びを通じて子どもたちの交流を図ることができた。</p> <p>③(仮称)多世代交流拠点施設で実施する事業に必要な諸室及び設備等について、関係課及びコンサルタント業者と協議・調整を行い、再度、要求水準書等(都市政策室作成)の公表に至った。ソフト事業については、人権文化センターとも引き続き調整していく。</p>
-------------	--

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
青少年センターで実施する各種講習講座(ユースゼネレーション、ふれあいサタデー等)の参加率(目標値:100%)	94.4 ( 94.4% )	86.6 ( 86.6% )	85.3 ( 85.3% )	B

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

<p>①各講習講座については、引き続きアンケート調査を実施し、利用者ニーズの把握に努めるとともに、青少年の健全育成や子どもの居場所づくり等を踏まえた個別事業の見直しに取り組んでいく必要がある。</p> <p>③(仮称)多世代交流拠点施設基本計画等に基づき、当該拠点施設における青少年健全育成機能について、関係課とともに検討を進めていく。</p>
--

##### ●評価委員からの主な意見

引き続き、利用者のニーズを的確に把握し個別事業の見直しなど、柔軟な対応に努められたい。
---

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	26	事業名	図書館の運営および子どもの読書推進	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	-------------------	-----	--------------------

予算額	347	百万円	決算額	345	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
生涯における読書振興	生涯を通じた学習の一翼を担う読書の振興	図書の提供だけでなく調査・探究を手助けする情報拠点として、図書館の管理・運営に取り組む	①2館2室の指定管理者による管理運営 ②電子図書館の周知拡大 ③公共施設を活用した自習室の開設
		子どもたちが読書を通じ生きる力を育めるよう、子どもの頃から読書に親しめる環境づくりに取り組む	④和泉市子どもの読書活動推進協議会の開催 ⑤図書館を使った調べる学習コンクール・小学生読書おたよりコンクール・中学生POPコンクールの継続 ⑥市内小学校新1年生への図書館カード配付

#### ●令和5年度の課題と改善策

③自習室の利用率の向上に向け、予約システムの改修やWi-Fi設置などの整備を進めてきたが、さらなる利用率の向上に向け、広報活動の強化を行う必要がある。  
・今後開校予定の小中一貫校における学校図書館の電算化だけでなく、学校図書館と市立図書館の統一システムの導入に向けて関係部局との連携が必要である。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	26	事業名	図書館の運営および子どもの読書推進	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	-------------------	-----	--------------------

##### ●令和6年度の事業評価

生涯における読書振興	<p>①指定管理者が持つノウハウを生かし、図書館事業の充実に努めた。また、講演会やワークショップ開催により、読書の振興と図書館利用促進を図ることができた。</p> <p>②電子図書館の周知を図るため、今年度、出前講座メニューに「電子図書館の使い方」を追加し、市内小中学校へ出向いて講座を実施した。また、指定管理者の自主事業として、桃山学院大学や市内スーパーで電子図書館出張体験会を開催し、電子図書館の利用促進を図った。</p> <p>③ホームページを活用し、市内自習室の周知に努め、利用率の向上に努めた。また、利用者アンケートを実施し、椅子の交換など、利用環境の改善を図った。</p> <p>④令和6年3月12日に和泉市子どもの読書活動推進協議会を開催し、活発な意見交換や事業提案がなされた。</p> <p>⑤「図書館を使った調べる学習コンクール」に101点の応募があり、全国コンクールに進んだ受賞作品のうち、2作品が佳作を受賞した。小学生読書おたよりコンクールは低学年の部に44点、高学年の部に124点、中学生POPコンクールに185点の応募があり、コンクールを通じた読書啓発を行うことができた。</p> <p>⑥こどもの図書館利用や電子図書利用を促すため、令和3年度に市内小・中学生の図書館カード未所持者に図書館カードを配付し、令和4年度以降は、市内小学新1年生の図書館カード未所持者を対象に配布しており、令和6年度は、890人に配布することができた。</p>
------------	--

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
市立図書館入館者数(目標数値:869,000人)	640,069 ( 73.7% )	659,398 ( 75.9% )	671,213 ( 77.2% )	C
こども1人当たりの市立図書館貸出冊数(目標数値:10冊)	9.5 ( 95.0% )	8.1 ( 81.0% )	8.1 ( 81.0% )	B

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

<p>①②引き続き、魅力的な講演会やワークショップを開催し、図書館の利用促進を図るとともに、出前講座において、電子図書館の周知に積極的に取り組む。</p> <p>・今後開校予定の小中一貫校における学校図書館の電算化だけでなく、学校図書館と市立図書館の統一システムによる連携の導入に向けて関係部局との連携が必要である。</p>
--

##### ●評価委員からの主な意見

<p>図書館において多くの講演会やワークショップを開催しているが、引き続き魅力的な取組みを実施されたい。</p>
--

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	27	事業名	国際交流	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	------	-----	--------------------

予算額	11	百万円	決算額	7	百万円
-----	----	-----	-----	---	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和6年度の主な取組内容(3項目以内)
国際交流の推進	多様な価値観を学び認め合う国際交流の推進	国籍や文化の違いを超えて、互いを尊重し、ともに活躍できるグローバル人材育成のため、国際交流の推進に取り組む	①姉妹都市である米国・ブルーミントン市との交換学生相互派遣事業において、交換学生を受け入れ ②姉妹都市である米国・ブルーミントン市とのマラソンランナー相互派遣事業において、ランナーを派遣 ③友好都市である中国・南通市へ市長公式訪問団を派遣

#### ●令和5年度の課題と改善策

①米国・ブルーミントン市との交換学生相互派遣事業において、5年ぶりに交換学生の受け入れを行うが、市内小中学生の英語学習意欲を高めるための交流内容について検討が必要である。

・いずみ国際交流フェアを実施するにあたり、イベントを実施するだけでなく、和泉市民との交流を図るため、外国人市民の参加を促す周知方法の工夫が必要である。  
 ・「日本と世界の子ども作品展」市内出展作品数の増加に向け、作品の出展につき、大阪・関西万博の機運醸成も含め、募集する取組みを行えるよう企画の検討を行う。

#### IV 点検・評価報告書(令和6年度事業)

取組項目番号	27	事業名	国際交流	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	------	-----	--------------------

##### ●令和6年度の事業評価

国際交流の推進	<p>①令和6年6月6日から18日まで、姉妹都市である米国ブルーミントン市から交換学生10人、引率者2人の受け入れを行い、市内公共施設の見学や体験、市内小中学生との交流を実施した。</p> <p>②令和6年10月3日から9日まで、姉妹都市である米国ブルーミントン市にランナー2人を派遣し、ツインシティマラソンに出場したほか、市内公共施設の見学や高校訪問、ホストファミリーや姉妹都市委員会との交流を行った。また、令和7年2月6日から12日まで、姉妹都市である米国ブルーミントン市からランナー2人を受け入れ、KIX泉州国際マラソンに出場したほか、市内公共施設の見学や体験、市内小中学生との交流を実施した。</p> <p>③令和6年11月24日から27日まで、友好都市である中国南通市に市長公式訪問団を派遣し、2025大阪・関西万博での南通市文化芸術集団といずみ太鼓鼓聖泉のコラボステージ実現に向け、協議を行ったほか、南通大学や小・中学校の訪問を実施した。</p>
---------	---

##### ●取組の成果

達成目標	令和4年度 ( )は達成率	令和5年度 ( )は達成率	令和6年度 ( )は達成率	達成度
「日本と世界の子どもの作品展」市内出展作品数(目標数値:70点)	59 ( 84.3% )	60 ( 85.7% )	98 ( 140.0% )	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

##### ●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

<p>①令和7年度は市内中学生10人を姉妹都市である米国ブルーミントン市へ派遣予定であるが、派遣事業終了後も、交換学生に継続的に市の国際交流事業に関わっていただくための仕組みの検討が必要である。</p> <p>③2025大阪・関西万博での南通市文化芸術集団といずみ太鼓鼓聖泉のコラボステージ実現のほか、幅広い方々に文化交流を行っていただけるよう、万博のみならず、和泉市内でのコラボステージ実施に向け、南通市と引き続き、協議・調整を行っていく。</p>
---

##### ●評価委員からの主な意見

<p>大阪・関西万博を契機とした国際交流の取組みについて評価する。引き続き、国際交流の推進に取り組まれない。</p>
--

## V 参考資料

### 1. 教育委員会の活動状況

#### ●教育委員会委員(令和7年4月1日現在)

	氏名	就任～任期	令和6年4月1日時点
教育長	大槻 亮志	令和6年4月1日～ 令和9年3月31日	大槻 亮志
委員 (職務代理)	深堀 知子	令和6年2月26日～ 令和10年2月25日	深堀 知子
委員	中西 正人	令和4年3月18日～ 令和8年3月17日	中西 正人
委員	小谷 美樹	令和4年12月22日～ 令和8年12月21日	小谷 美樹
委員	西家 章弘	令和6年11月9日～ 令和10年11月8日	西家 章弘
委員	木村 規洋子	令和6年11月9日～ 令和10年11月8日	久米 ひろみ

#### ●教育委員会会議

教育委員会会議は、毎月1回の定例会と、必要に応じて臨時会を開催しています。

会議では、市議会に提案する議案のほか、学校教育や社会教育の一般方針や教育内容の方針、教科用図書採択、社会教育委員等の委員の任命などについて、審議、意見交換を行うこととしています。

#### 令和6年度の会議開催状況

定例会 12回

臨時会 2回

開催日	区分	審議議案・主な報告事項
令和6年 4月18日	定例会	議案 ・なし 報告 ・令和6年度「いずみ希望塾」申込状況及び受講者数等について ・万博国際交流プログラムの登録について ・歴史公文書の決定に係る基準の制定について
令和6年 5月23日	定例会	議案 ・和泉市教育センター条例の一部を改正する条例制定について ・和泉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・和泉市教育委員会事業者選定委員会規則の一部を改正する規則制定について ・令和7年度使用和泉市立小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書の採択について 承認 ・令和7年度使用和泉市立中学校及び義務教育学校後期課程教科用図書に関する諮問について ・令和6年度和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会委員の委嘱及び任命について 報告 ・令和6年度以降の和泉市豊かな心をはぐくむ授業公開について ・(仮称)和泉市北西部認定こども園整備基本計画について ・北松尾幼稚園・保育園の認定こども園化について
令和6年 6月20日	定例会	議案 ・なし

開催日	区分	審議議案・主な報告事項
令和6年 6月20日	定例会	承認 ・令和6年和泉市議会第2回定例会における工事請負契約の締結について ・令和6年和泉市議会第2回定例会における補正予算について ・教職員の処分について 報告 ・令和7年度和泉市教育委員会任期付市費負担教育職員の採用候補者登録試験募集要項について ・令和6年度和泉市子どもの夢応援奨学金について ・令和6年度第23回子ども議会について ・教職員の処分について
令和6年 7月18日	定例会	議案 ・和泉市社会教育委員の委嘱について ・和泉市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 報告 ・歴史公文書の決定に係る基準の制定について ・池上曾根遺跡大型掘立柱建物の柱の年代再調査について
令和6年 7月25日	臨時会	議案 ・令和7年度使用和泉市立中学校及び義務教育学校後期課程教科用図書の採択について
令和6年 8月22日	定例会	議案 ・和泉市立小学校・中学校・義務教育学校の教職員管理職人事について

開催日	区分	審議議案・主な報告事項
令和6年 9月19日	定例会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校設置条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・和泉市教育委員会事業者選定委員会規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・令和6年度和泉市教育委員会の点検・評価報告書について</li> </ul> <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪・関西万博への児童・生徒招待事業について</li> <li>・(仮称)榎尾学園留守家庭児童会運営業務委託事業者の決定について</li> <li>・富秋中学校区等まちづくり構想の事業化に係る再入札公告に向けた事業範囲等の見直しについて(多世代交流拠点施設の開設延長について)</li> <li>・交流拠点施設を活用したまちの賑わい創出・交流人口拡大事業(地方創生推進交付金事業)について</li> <li>・本市の学校における事案について</li> </ul>
令和6年 10月17日	定例会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和泉市スポーツ推進審議会委員の委嘱について</li> </ul> <p>承認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年和泉市議会第3回定例会における補正予算について</li> </ul> <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の学校における生徒指導上の課題への対応について</li> </ul>
令和6年 11月14日	定例会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補正予算について</li> <li>・和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校就学区規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・令和7年度和泉市立学校教職員人事基本方針について</li> </ul>

開催日	区分	審議議案・主な報告事項
令和6年 11月14日	定例会	<p>承認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の処分について</li> </ul> <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和泉市立(仮称)富秋学園整備事業の進捗状況について</li> <li>・和泉市立榎尾学園特認校指定実施要綱の制定について</li> <li>・(仮称)和泉市子ども計画について</li> <li>・和泉市立青少年の家・榎尾山森林浴コースの指定管理について</li> <li>・和泉市指定文化財の指定にかかる諮問について</li> <li>・和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン素案及びパブリックコメントの実施について</li> <li>・教職員の処分について</li> </ul>
令和6年 12月26日	定例会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul> <p>承認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和泉市任期付市費負担教育職員の給与等の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について</li> </ul> <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン(案)について</li> </ul>

開催日	区分	審議議案・主な報告事項
令和7年 1月16日	定例会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に規定する事務を定める規則の制定について</li> </ul> <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和泉市立いぶき野小学校大規模改修工事請負契約の変更について</li> <li>・大阪・関西万博への児童生徒招待事業の対応について</li> <li>・令和7年度全国学力・学習状況調査について</li> <li>・中国江蘇省南通市への和泉市長公式訪問団の派遣報告について</li> </ul>
令和7年 2月6日	定例会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度当初予算(教育委員会関連)について</li> <li>・公の施設の指定管理者の指定について(和泉市立青少年の家・和泉市立榎尾山森林浴コース)</li> <li>・補正予算について</li> <li>・和泉市いじめ問題対策連絡協議会等条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・和泉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・和泉市認定こども園条例の制定について</li> <li>・和泉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・和泉市附属機関に関する条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・和泉市立小学校・中学校・義務教育学校の教職員管理職人事について</li> </ul> <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)榎尾学園整備事業工事請負契約の変更について</li> <li>・(仮称)和泉市北部総合スポーツセンター基本構想の策定状況について</li> <li>・和泉市部活動地域移行計画策定委員会の開催について</li> </ul>

開催日	区分	審議議案・主な報告事項
令和7年 2月27日	臨時会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和泉市学校教育情報化推進計画の策定について</li> <li>・和泉市久保惣記念美術館運営ビジョンの策定について</li> <li>・和泉市立小学校・中学校・義務教育学校の教職員一般人事について</li> </ul> <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業証書の割印の廃止について</li> </ul>
令和7年 3月27日	定例会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和泉市行政手続等における情報通信技術の利用に関する条例の施行に関する和泉市教育委員会規則制定について</li> <li>・和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・和泉市留守家庭児童会条例施行規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン策定委員会規則を廃止する規則制定について</li> <li>・和泉市スポーツ推進委員の委嘱について</li> <li>・和泉市いじめ防止基本方針の改訂について</li> <li>・いじめ重大事態に関する調査報告書の公表ガイドラインの制定について</li> <li>・令和7年度学校に対する指示事項について</li> <li>・令和7年度幼稚園に対する指示事項、保育所に対する指導・助言事項について</li> </ul> <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桃山学院大学と和泉市教育委員会との連携に関する協定の締結について</li> <li>・和泉市事業者選定委員会規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・「2026年和泉市はたちのつどい」に係る開催部数変更について</li> </ul>

開催日	区分	審議議案・主な報告事項
令和7年 3月27日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セネガル共和国への和泉市長公式訪問団の派遣報告について</li> <li>・令和7年度和泉市教育委員会の点検・評価報告書(令和6年度事業分)(素案)について</li> <li>・和泉市教育振興基本計画(令和7年度行動計画編)について</li> <li>・「大阪府公立学校長(任期付)」令和8年度任用に係る意向調査について</li> </ul>

## ●総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4の規定に基づき、市長と教育委員会(教育長及び教育委員会委員)で構成される会議です。

教育に関する予算の編成・執行や条例提案など重要な権限を有している市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るものです。

総合教育会議では、教育に関する「大綱」の策定、教育の条件整備など重点的に構すべき施策、児童生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に構すべき措置について、協議・調整を行います。

## 令和6年度第1回総合教育会議

令和6年5月23日(木)開催

議題 ・「教育と福祉の連携」令和6年度の取組みについて  
・本市における生徒指導上の課題の対応について

## 令和6年度第2回総合教育会議

令和6年7月18日(木)開催

議題 ・学校のICT活用について

## 令和6年度第3回総合教育会議

令和6年9月19日(木)開催

議題 ・学校のICT活用について

令和6年度第4回総合教育会議

令和6年11月21日(木)開催

議題 ・学校のICT活用について

令和6年度第5回総合教育会議

令和6年12月26日(木)開催

議題 ・学校のICT活用について

・本市における生徒指導上の課題の対応について

令和6年度第6回総合教育会議

令和7年2月6日(木)開催

議題 ・本市における生徒指導上の課題の対応について

## 2. 和泉市教育委員会評価委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、和泉市附属機関に関する条例(昭和32年和泉市条例第43号)第2条の規定に基づき、和泉市教育委員会評価委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第2条 委員会は、和泉市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の求めに応じ、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うに当たり意見を述べるものとする。

(組織)

第3条 委員会は、委員3人以内で組織する。

2 委員は、教育に関する学識経験者から教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、教育委員会が委嘱した日から同日の属する年度の翌年度の末日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。

(委員会の招集、議事の特例)

第7条 委員長は、災害その他の理由により委員会を招集することができない場合においては、前条の規定にかかわらず、書面その他の方法により委員の意見を聴取することができる。

(関係者の出席)

第8条 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴くことができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、評価委員会を担当する部署において処理する。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(招集の特例)

2 施行日又は委員の任期満了日の後最初に行われる会議の招集は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育委員会が行う。

附 則(平成27年教委規則第12号)

この規則は、公布の日から施行し、改正後の和泉市教育委員会評価委員会規則は、平成27年4月1日から適用する。

附 則(令和2年教委規則第27号)

この規則は、公布の日から施行する。